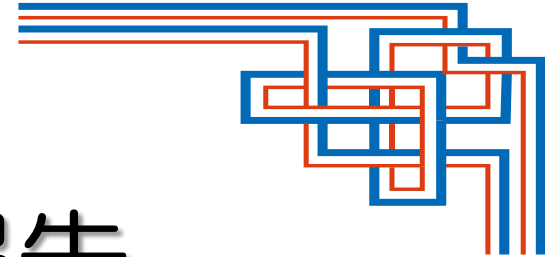
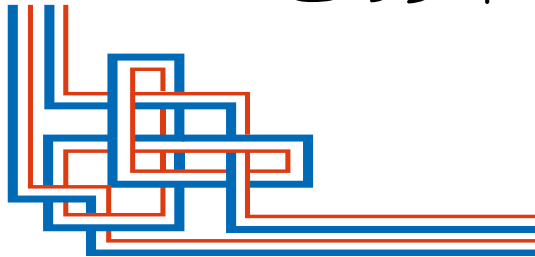


臼杵市の取り組み報告

～このタイミングだからこそできる総合事業への移行～



臼杵市医師会地域包括支援センターコスモス

石井 義恭

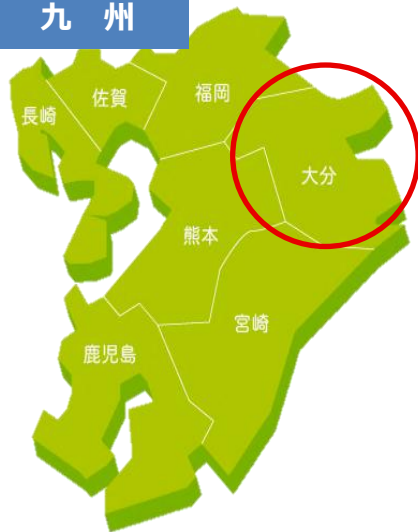
私は...

- 市町村職員と考え方の近い医師会の職員です
- 地域包括支援センターに勤務する臼杵市民の一人です
- どこにでも顔を出し、文句ではなく前向きに提案します
- 県民だから、当たり前ですが大分県のことを考えます
- 遠慮なく、行政の力を借ります…市民／県民ですから
- できることは何でもやります…お互い様ですから

大分県の概況

資料 大分県高齢者福祉課

九州



- 大分県は「アジアの玄関口」である九州の北東部に位置し、北側は周防灘に、東側は伊予灘、豊後水道に面している。
- 人口が最も多い市町村は県庁所在地である大分市
- 総面積は約6,340km²で、面積が最も広い市町村は佐伯市 | 九州一 |

■ 市町村数 18市町村

※平成の大合併前は58市町村 | 11市36町11村 |

■ 総人口 約117万人

- 高齢者人口 約33.5万人
- 高齢化率 28.6% | 全国平均 25.1% |
- 要介護認定者数 約6.7万人
- 要介護認定率 19.6% | 全国平均 18.2% |
- 第5期介護保険料 5,351円 | 全国平均 4,972円 |

■ 地域包括支援センター数 55

- 直営 6
- 委託 49

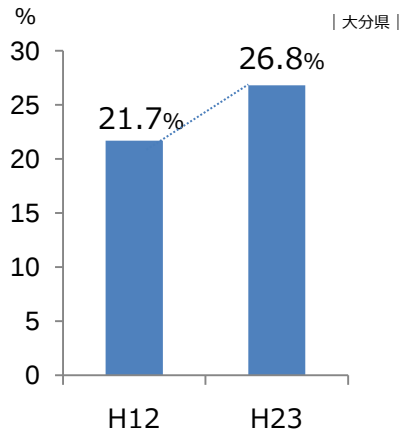
※総人口、高齢者人口、高齢化率はH25年10月1日現在、要介護認定者数・要介護認定率は第2号被保険者含む | はH25年度末現在、地域包括支援センター数はH26年4月1日現在

大分県内

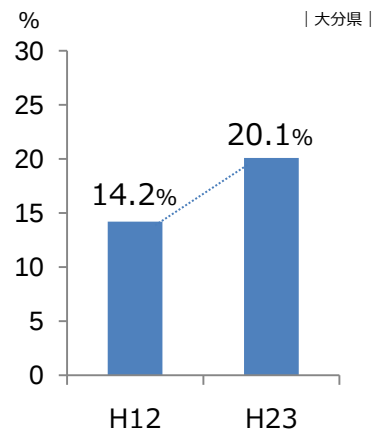


▶ 地域包括ケアシステムの構築と介護保険制度の持続可能性の確保

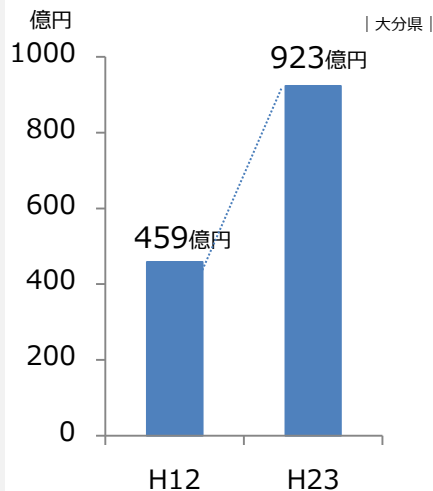
1. 高齢化率



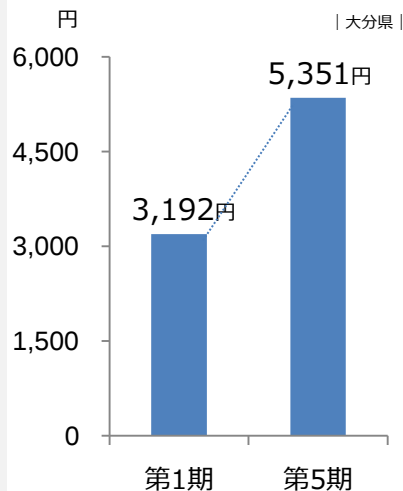
2. 要介護認定率



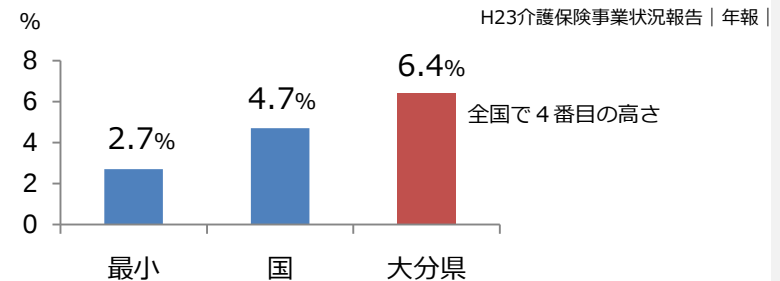
3. 介護給付費



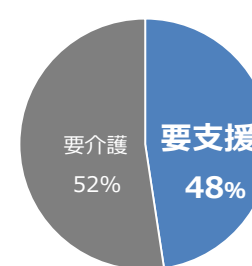
4. 介護保険料



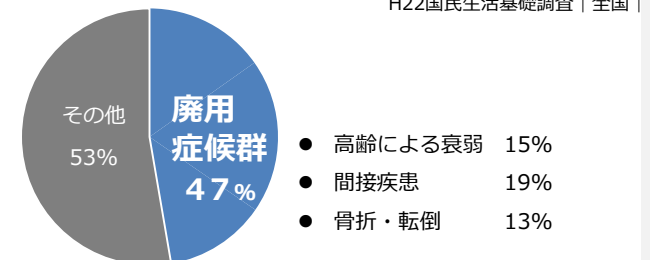
▶ 要支援者の認定割合が高い



▶ 新規認定者の約50%が要支援者



▶ 要支援者の約50%は廃用症候群

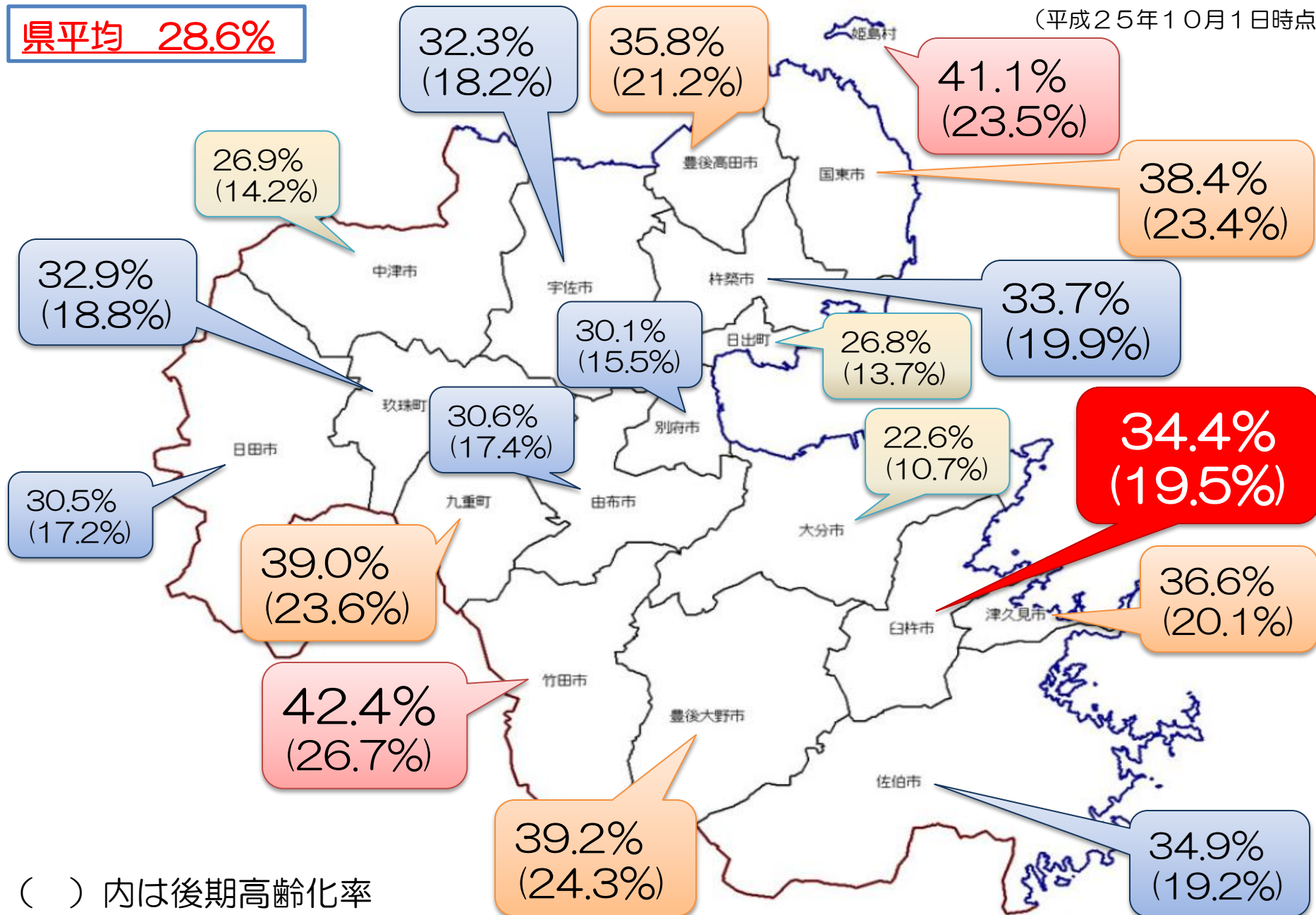


▶ 要支援者の改善率が低い | 6.5% | H23 |

大分県内の高齢化率の比較

(平成25年10月1日時点)

県平均 28.6%



() 内は後期高齢化率

臼杵市の高齢化の現状

(住民基本台帳より)

人口・・・41,266人 (平成26年4月末時点)

男性・・・19,514人

女性・・・21,752人

世帯数・・・17,307世帯

独居世帯 3,337世帯 (19.3%)

高齢者世帯 2,505世帯 (14.5%)



臼杵市観光PRキャラクター

「ほっとさん」

年少人口・・・4,609人 (0～14歳 11.17%)

生産年齢人口・・・22,084人 (15～64歳 53.51%)

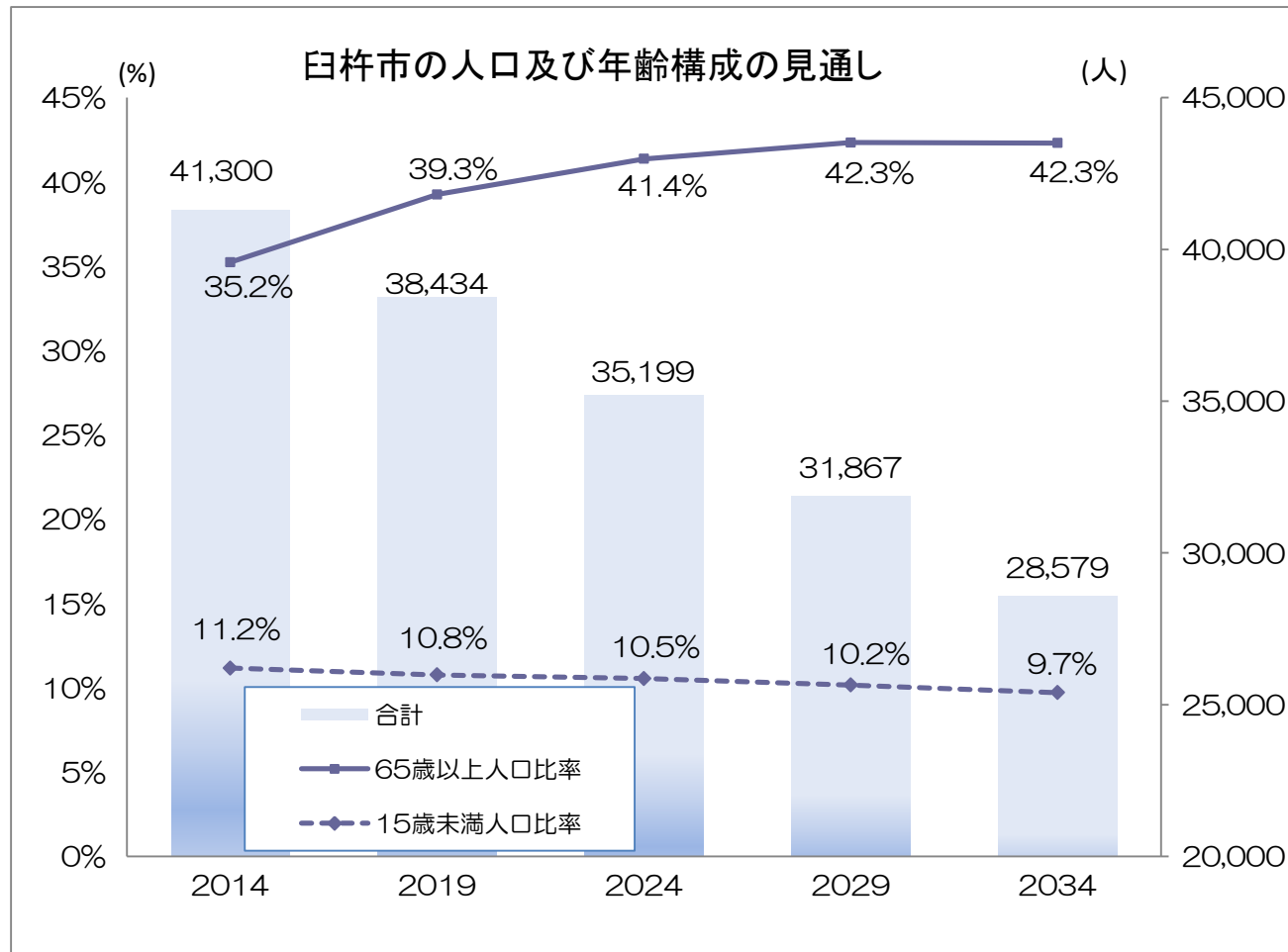
老年人口・・・14,573人 (65歳以上 35.26%)

要介護認定者数・・・2,698人 (認定率 18.6%)

高齢化率・・・35.23% (平成26年3月末時点)

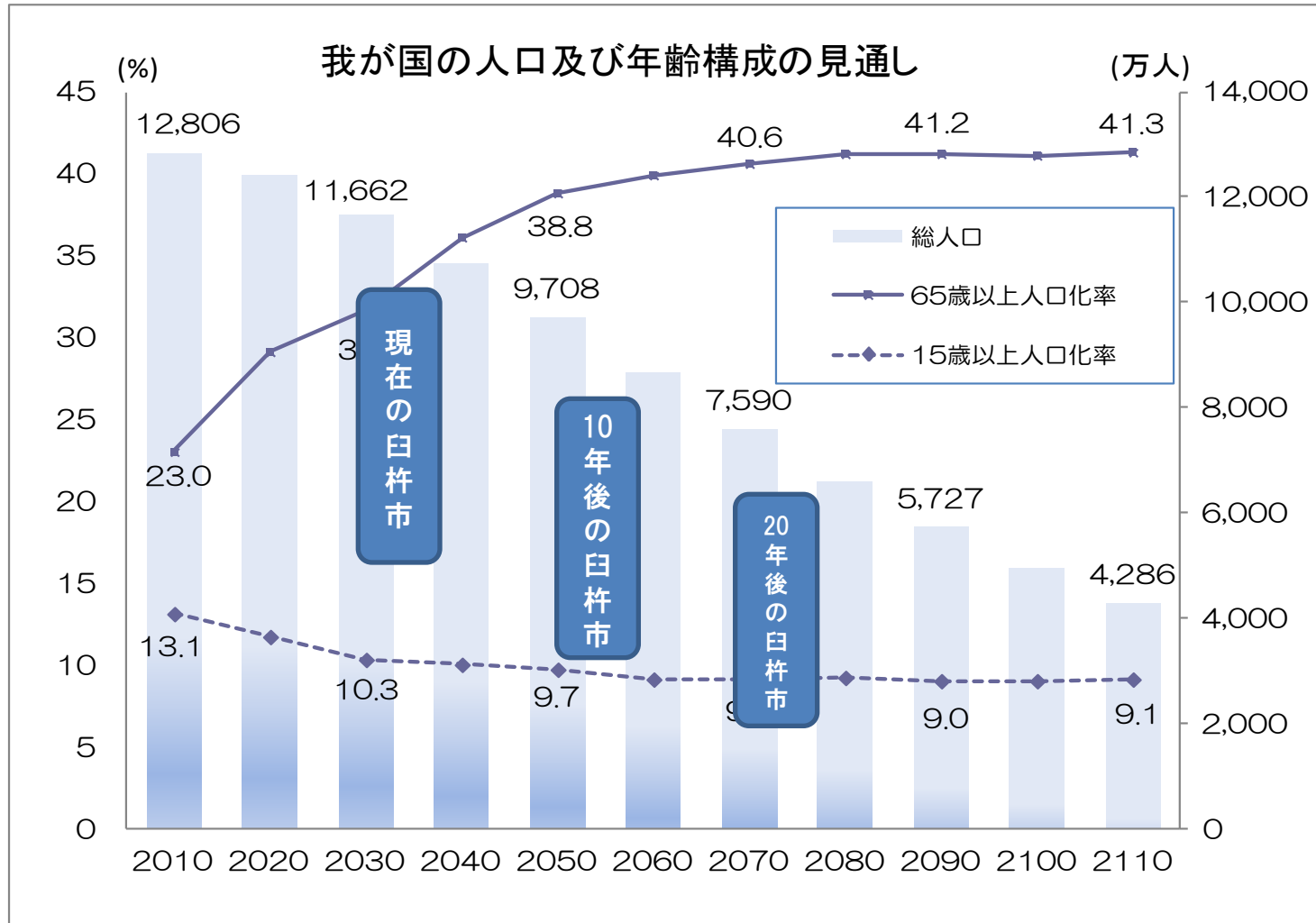
臼杵市の将来推計人口等（2014年8月試算）

- 臼杵市は、高齢化率（65歳以上人口比率）が既に35%を超えており、人口も減少局面にある。
- この傾向は、今後も続き、5年後には高齢化率は40%の水準となり、20年後には、人口も3万人を割ってしまう。
- 高齢化率40%時代の地域づくりを行うとともに、人口減少に少しでも歯止めをかける取組みが必須。



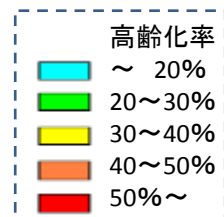
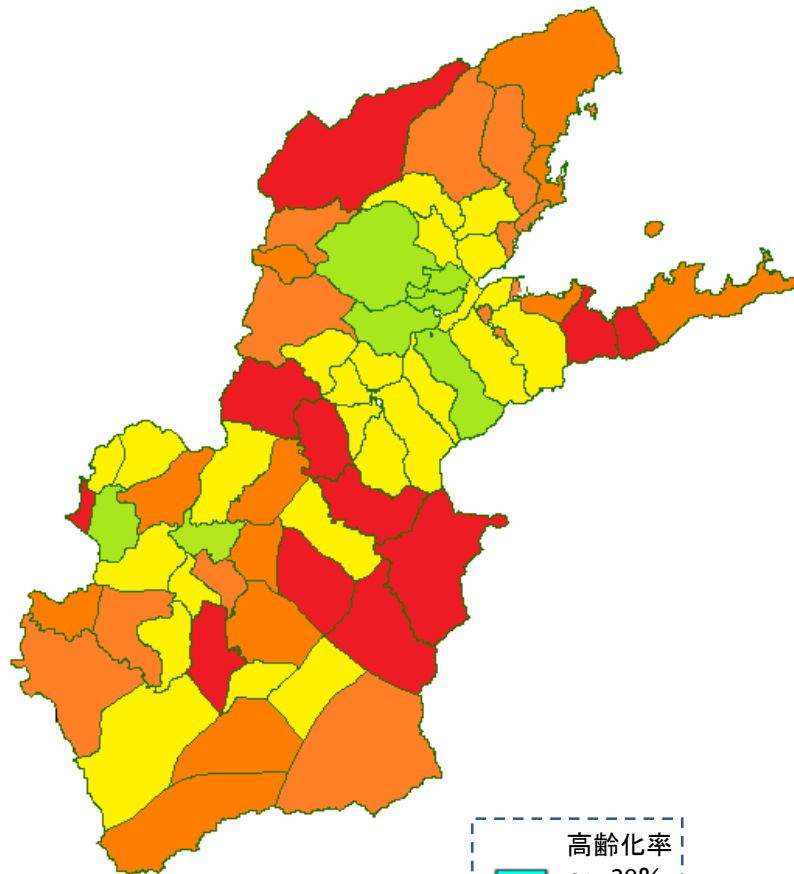
臼杵市の少子高齢化と全国との比較

臼杵市の高齢化は、すでに20年後の日本の姿。
高齢化の先進地として、様々な課題に“いますぐに”取り組んでいる。

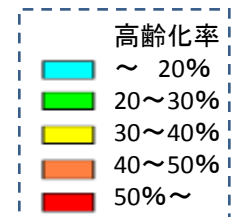
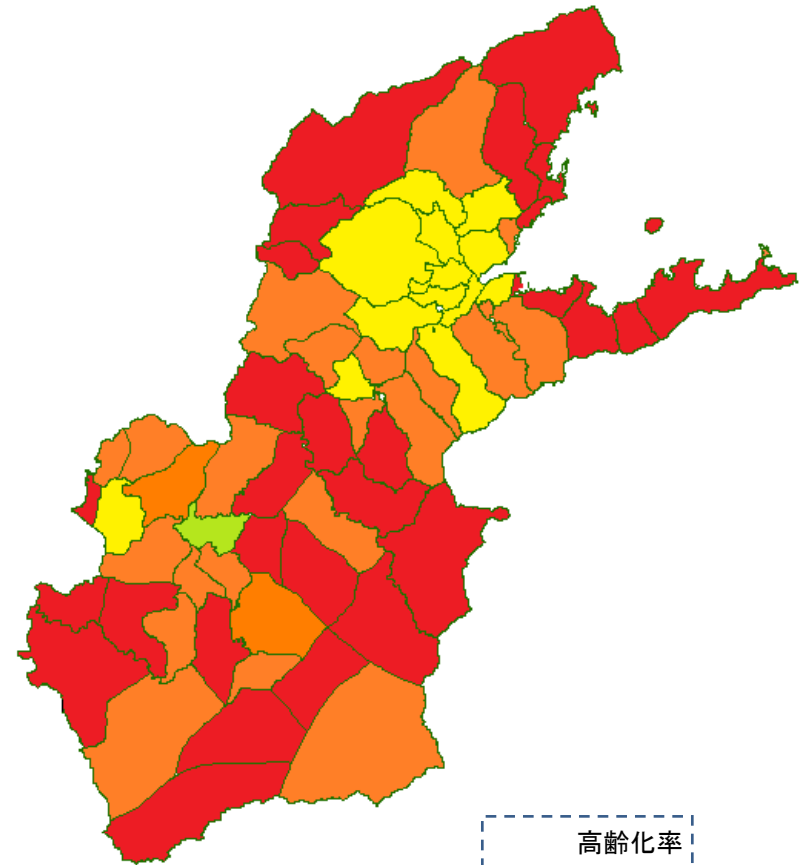


地域別にみた臼杵市の高齢化

〔 2014年 〕
高齢化率 ： 35.2%



〔 2024年 〕
高齢化率 ： 41.4%

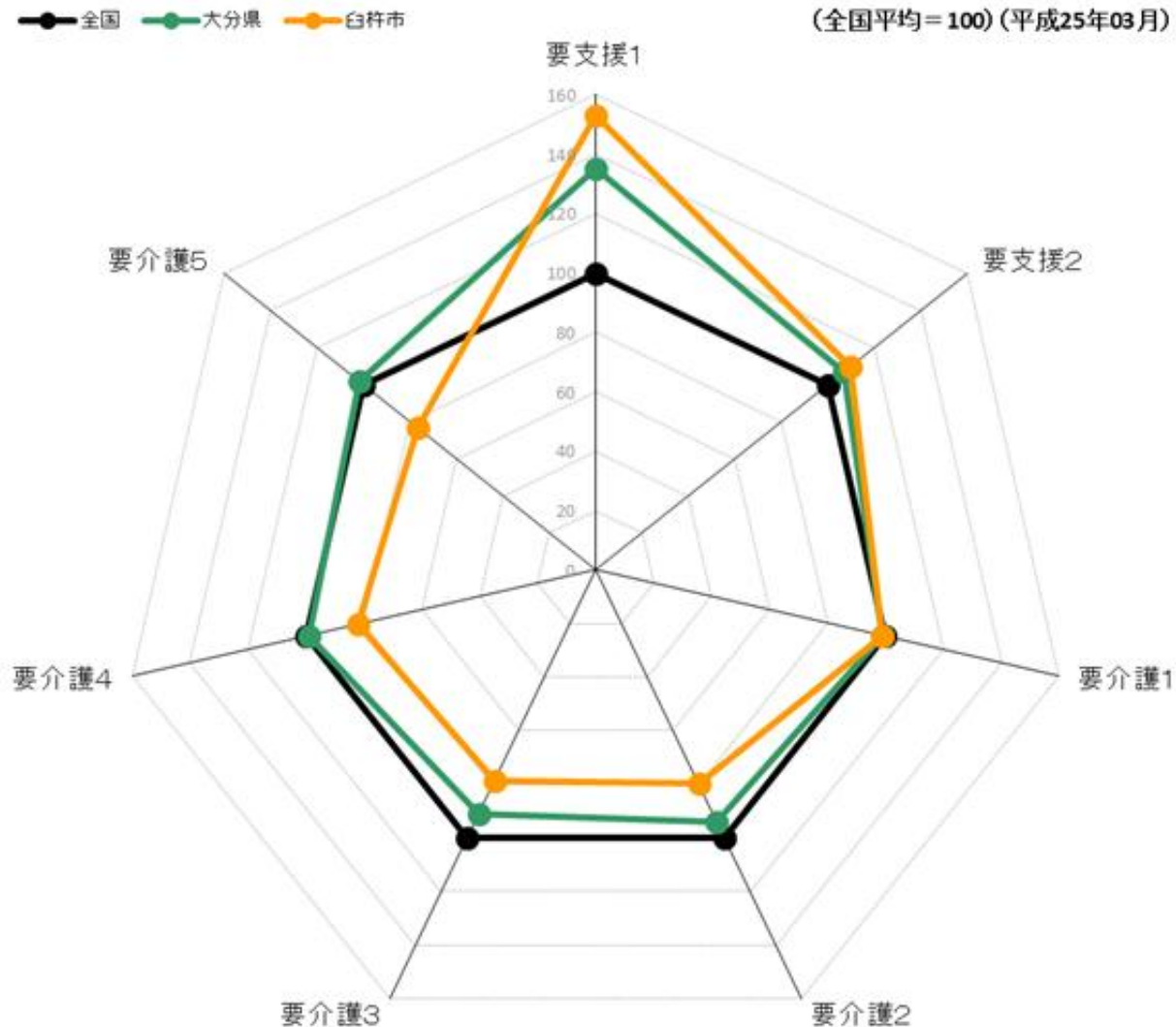


中核市との比較

	臼杵市	大分市	比較
人口	約4.1万人	約47.8万人	約11.6倍
高齢化率	22.6	22.4%	—
面積	291平方Km	501平方Km	約1.7倍
第一号被保険者数	約1.4万人	約10.9万人	約7.7倍
地域包括支援センター数	1カ所	19カ所	19倍

- ・平成17年に旧大野郡野津町（農業が主の地域）と合併
- ・広い面積に高齢者が点在
- ・中学校区エリア6ヶ所に包括は1つのみ
- ・包括スタッフは管理者1名、主任ケアマネ2名、社会福祉士2名、保健師3名、ケアマネージャー9名、事務員2名（現在、19名在籍）

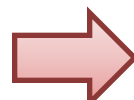
要介護度別認定率指数の比較



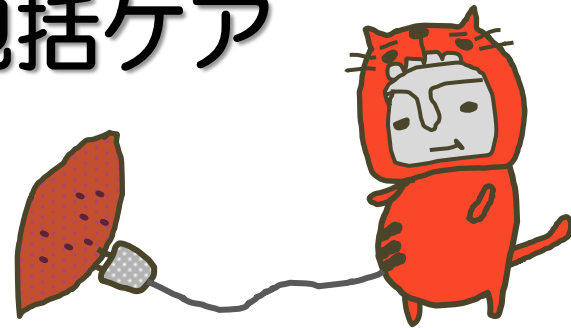
要支援認定者約1000人中、約760人が介護予防支援を利用
(そのうち約半数は居宅介護支援事業所に委託)

臼杵市の特徴と課題

- ・ 地域包括支援センターを医師会が受託
 - 一市・一医師会・一包括で、医療との連携がとりやすい
 - 反面、住民ネットワークとの繋がりはまだ弱い…
- ・ 市役所、医師会の関係が良好で連携の機会（回数）が多い
 - 在宅医療連携拠点（プロジェクトZ）
認知症対策（臼杵市の認知症を考える会）など
- ・ 農作業に取り組む人が多く、比較的元気な高齢者が多い
 - 移動手段や外出の場に乏しく、軽度認定者が多い
 - 包括はケアマネジメント業務に追われてしまう…
- ・ エリアが広く、社会資源にも地域間格差が大きい
 - 移動能力の低下から加速度的に生活不活発が進む…

 打開の糸口として、地域ケア会議を開催
(H24.10～模擬ケア会議を開催)

地域ケア会議を 推進力にした地域包括ケア



地域ケア会議の目的と内容

➤ 要支援・要介護者を元気に！

資料：大分県高齢者福祉課

理学療法士・作業療法士
管理栄養士・歯科衛生士
言語聴覚士・薬剤師 等

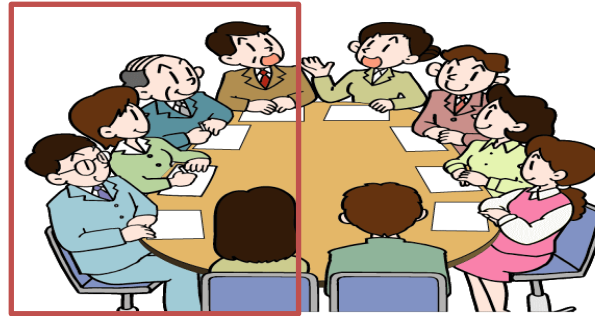
例

要支援



地域ケア会議

市町村
(保険者) 地域包括支援センター



ケアプラン作成者 サービス事業所 等

介護保険の基本理念＝自立支援

◆ 第二条第二項 | 介護保険 |

前項の保険給付は、要介護状態又は要支援状態の軽減又は悪化の防止に資するように行われるとともに、医療との連携に充分配慮して行われなければならない。

◆ 第四条 | 国民の努力及び義務 |

国民は、自ら要介護状態となることを予防するため、加齢に伴って生ずる心身の変化を自覚して常に健康の保持増進に努めるとともに、要介護状態となった場合においても、進んでリハビリテーションその他の適切な保健医療サービス及び福祉サービスを利用することにより、その有する能力の維持向上に努めるものとする。

◆多職種協働による協議

◆自立を阻害する要因の追求

◆医療との連携

◆インフォーマルサービスの活用

◆地域課題発見・解決策の検討

◆参加者のOJT

ケアプランの実行・評価・見直し

高齢者のQOLの向上

地域ケア会議等の実施状況

市町村名	H25年度					H26年度	現行の総合事業 の実施状況	新しい総合事業 の実施予定
	開始時期	開催頻度	開催回数	検討件数	参加総数	開催頻度		
姫島村	H24以前	月1回	12	9	312	月1回	なし	H28年度中
豊後高田市	H24.2	月2回	18	83	350	月2回	H25.4～	H27.4～
杵築市	H24.2	週1回	48	217	1,069	週1回	H24.10～	H27.4～
豊後大野市	H24.4	週1回	43	127	813	週1回	H26.4～	H28年度中
臼杵市	H25.4	週1回	44	165	767	週1回	なし	H27.4～
津久見市	H25.4	月2回	21	80	411	月2回	なし	H28年度中
別府市	H25.4	月2回（中央会議）	23	138	693	月2（中央会議）	なし	H27.4～
宇佐市	H25.8	年4回	4	8	60	年6回	なし	H27年度中
国東市	H25.9	週1回	25	99	504	週1回	なし	H27.4～
九重町	H25.9	月1回	7	22	91	月1回	なし	未定
中津市	H25.10	週1回	22	93	616	週1回	なし	H27.4～
日出町	H25.10	月2回	12	47	261	月2回	なし	H27.4～
玖珠町	H25.10	月1回	6	18	116	月1回	なし	H27年度中
佐伯市	H25.11	週1回	19	70	610	週1回	H26.4～	H27.4～
竹田市	H25.11	月2回	10	18	246	月2回	H26.10～	H27.4～
日田市	H26.1	月2回	6	13	178	月2回	なし	H28年度中
由布市	H26.3	月2回	2	6	36	月2回	なし	H27年度中
大分市	H26.5	－	－	－	－	年6回	なし	未定

計 322回 1,213件 7,133名

※新しい総合事業の実施予定についてはH26年9月現在

臼杵市での地域ケア会議開催の目的

① 介護保険の理念の実現

（自立支援の推進、医療との連携）

② 自立支援型ケアマネジメントの標準化

（早期発見・対応ができるアセスメント技術とその展開）

③ ケアプランの質の向上とケアレベルの向上

（悪化の予防・遅延が可能な介護サービスの立案と実施）

④ 他制度・多職種によるチームケアの支援

（早期対応を重視し、医療と介護が統合されたサービスの提供）

⑤ 必要な資源の開拓・導入

（看取りまで見据え、共生型社会を目指した地域づくり）

介護保険の理念

「自立支援」と介護給付の**目的及び国民への期待**

〈介護保険法〉

【第2条第2項】 (介護保険)

前項の保険給付は、要介護状態又は要支援状態の軽減又は悪化の防止に資するように行われるとともに、医療との連携に充分配慮して行わなければならない。

【第4条】 (国民の努力及び義務)

国民は、自ら要介護状態となることを予防するため、加齢に伴って生ずる心身の変化を自覚して常に健康の保持増進に努めるとともに、要介護状態になった場合においても、進んでリハビリテーションその他の適切な保健医療サービス及び福祉サービスを利用することにより、その有する能力の維持向上に努めるものとする。

臼杵市の地域ケア会議（実績）

平成25年度 開催実績

毎週火曜日午前 全44回（165件）

1回につき3～5件（現在は毎週 木曜午前）

研修実績（H24年度末～H25年度中）

居宅対象：4回

通所対象：3回

訪問対象：4回

全事業所：2回

延べ 790名の参加者

地域ケア会議活用推進事業

和光市視察（専門職7名、包括3名、行政3名）

専門職派遣事業

臼杵市の地域ケア会議（成果）



臼杵市における改善率の変化

（要支援2→要支援1、要支援2→自立、要支援1→自立）

H23年度 11.7%（うち自立 1.9%）

H24年度 9.4%（うち自立 1.9%）

H25年度 15.8%（うち自立 5.7%） ※県報告



認定率の変化

H24年度 19.31%（要支援認定者数：995名）

H25年度 18.86%（要支援認定者数：971名）

※3月末時月報

地域ケア会議の定期的な実施によるOJTと並行して行った研修により、改善率・認定率共に数値的效果が表れている。関係者の意識変容も大きい。

地域ケア会議の風景

大分県は
埼玉県和光市の
スタイルを推進



地域ケア会議の流れ

項 目	所要時間	ポ イ ン ト
①資料読み込み	約4分	・各自で読み込み
②プラン作成者から概要説明	約4分	・現在の状態に至った背景（個人因子・環境因子）を簡潔に説明 ・生活機能評価の解説 ⇒ 改善可能なポイントは？ ・上記をふまえたプランの説明
③事業者から評価・今後の支援方針	約4分	・利用しているサービスの提供事業者が各立場から発言
④包括と助言者からの質問・助言	約10分	・参加者は単なる質問ではなく、改善策に向けた ・司会は、課題の本質やプラン作成・サービス提供上の注意点などについて、端的に言語化してまとめ、共通認識にぶれが生じないようにする
⑤まとめ	約2分	・司会は会議のまとめとして、今後のケアの方針を確認 ・介護支援専門員や事業者等が当面行う必要がある課題（例：主治医の意見確認、家族との話し合い等）がある場合には、漏れが無いよう再確認する

※ 時間管理のため、タイムキーパーを配置

地域ケア会議の準備資料

①利用者基本情報

対象者の氏名、性別、家族構成や既往など基本となる情報

②介護予防のアセスメント〔1〕基本チェックリスト

本人の身体及び認知、閉じこもり等の状況を把握する基本項目

※二次予防対象者把握として配布していたものと同じ

③介護予防のアセスメント〔2〕追加項目

基本チェックリスト項目を更に細分化したもの

④生活機能評価票

本人のADL・IADLの状況を把握するための様式

⑤介護予防サービス・支援計画書

ケアマネージャーがアセスメントし、立案したケアプラン

⑥介護事業所計画書（通所・訪問・福祉用具・住宅改修等）

サービス提供を行う事業者が作成したプラン

生活機能評価票

日常生活動作

手段的
日常生活動作

ADLの向上だけでなく、
IADLの向上につなげる
ことでQOL（生活の質）
が変化する。

		事前	事後予測	備考
A D L	室内歩行	○2	○1	杖使用にて自力歩行可
	屋外歩行	○2	○1	杖使用にて自力歩行可
	外出頻度	○1		1回程度／週
	排泄	○1		
	食事	○1		
	入浴	○1		毎日自力にて行っている。
	着脱衣	○1		
I A D L	掃除	△1	○2	右足に力が入りにくくバランスが悪い。自分の部屋は何とか行う。
	洗濯	△1	○2	ほとんど娘が行い、時々は自分で洗うことがある。
	買物	×1	○2	娘が全てを行っている。
	調理	×1	○2	娘が全てを行っている。娘の分の食事も準備したいとの意欲あり。
	整理	○1		
	ごみ出し	×1	○2	娘が全てを行っている。
	通院	△1	○2	娘の運転もしくはタクシーにて。車(軽の自家用車)を運転したいとの希望。
	服薬	○1		自己管理。飲み忘れなし。
	金銭管理	○1		
	電話	○1		
	社会参加	○1		

自立支援型のケアプラン

介護予防サービス・支援計画表

NO. _____

利用者名 _____ 様 認定年月日 _____ 年 ____ 月 ____ 日 認定の有効期間 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日 ~ 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

初回・紹介・継続 _____ 認定済・申請中 _____

要支援1・要支援2 _____ 地域支援事業 _____

計画作成者氏名 _____ 委託の場合: 計画作成事業者・事業所名及び所在地(連絡先) _____

計画作成(変更)日 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日 (初回作成日 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日) 担当地域包括支援センター: _____ 日田市医師会地域包括支援センターコスモス

目標とする生活				1年	何がしたい、どうなりたい(自己実現)				
1日									
アセスメント領域と現在の状況	本人・家族の意欲・意向	領域における課題(背景・原因)	総合的課題	課題に対する目標と具体策の提案	具体策についての意向 本人・家族	目標	支援計画		
						目標についての支援のポイント	本人等のセルフケアや家族の支援、インフォーマルサービス	介護保険サービスまたは地域支援事業	期間
運動・移動について		☐ 有 ☐ 無							
日常生活(家庭生活)について		☐ 有 ☐ 無							
社会参加、対人関係・コミュニケーションについて		☐ 有 ☐ 無							
健康管理について		☐ 有 ☐ 無							

事業者が作る
プランに反映

役割分担

健康状態について
☐主治医意見書、生活機能評価等を踏まえた留意点

【本来行うべき支援が実施できない場合】
適切な支援の実施に向けた方針

総合的な方針: 生活不活発病の改善・予防のポイント

基本チェックリストの(該当した質問項目数)/(質問項目数)をお書きください。
地域支援事業については必要な事業プログラムの下欄に○印をつけて下さい。

運動不足	栄養改善	口腔内ケア	閉じこもり予防	物忘れ予防	うつ予防	予防給付 または 地域支援事業

合意を得られなかった提案への対処

地域包括支援センター	【意見】
	【確認印】

計画に関する同意

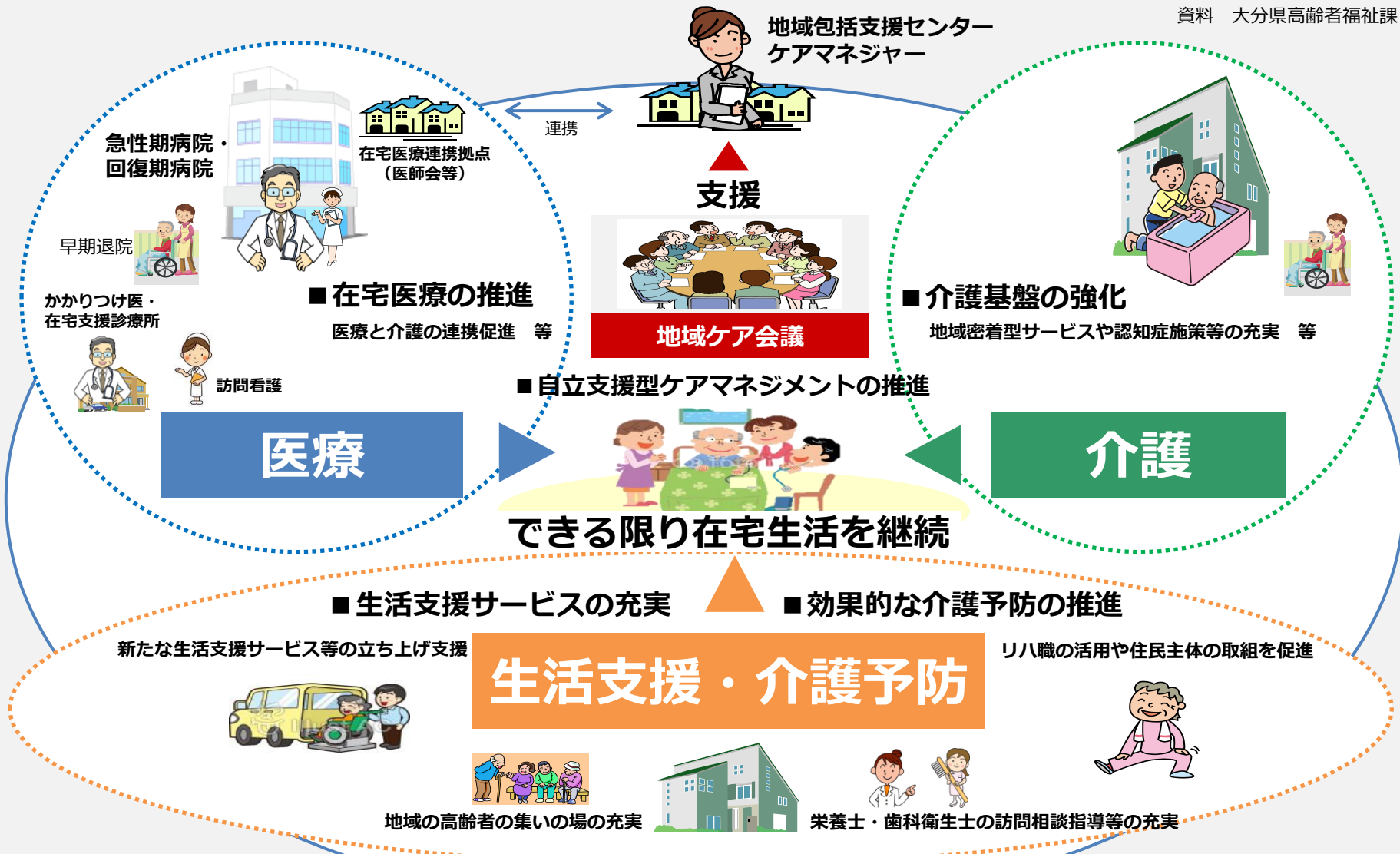
上記計画について、同意いたします。

平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日 氏名 _____ 印

地域ケア会議から地域包括ケアシステム構築へ

地域包括ケアシステム | 日常生活圏域 |

資料 大分県高齢者福祉課



安心して暮らせる住まい



自立支援と地域包括ケア

心身の機能低下を予防し、その人らしい暮らし（自己実現）を支援する。

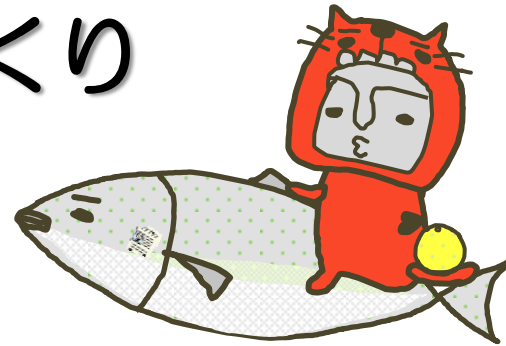
自立支援は単なる“元気高齢者づくり”ではなく、認知機能や身体機能低下をいち早くキャッチし、運動器・栄養・口腔・医療など専門的視点を取り入れ、必要な介護サービスや多様な生活支援と結びつける。

生活と健康（介護と医療）を統合し、“尊厳を保持し、自立した日常生活”を支える。（→ 介護保険 第1条の実現）

認知症の早期発見と受診勧奨を行い、ご本人の思いを早期に汲み取り、その後の支援に活かす。（→ 認知症初期集中支援チーム）

本人の内的・外的な資源や強みを「見つけ、活かし、叶え」、地域での居場所を大切にする。（→ 生活支援コーディネーター）

在宅医療連携で
安心して暮らせる
我がまちづくり



臼杵市医師会立コスモス病院

病院理念

臼杵市市民の健康と安全を守ります



昭和41年 臼杵市医師会病院 開院
地域医療支援病院
二次救急病院
災害拠点病院
へき地医療支援病院

- 看護配置：10対1
- 病 床 数：202床
- 常勤医師数：12名
- 平均在院日数：20日
- 併設施設：
 - 市民健康管理センター
 - コスモス介護支援センター
 - コスモスケアステーション
 - 地域包括支援センター
- 関連事業所：
 - 介護老人保健施設 南山園
- 疾患別リハ届出：
 - 脳血管 I，運動器 I
 - 呼吸器 I，心大血管 I
 - がんリハ

臼杵市の病床取得状況

	病院・診療所	病床数	病床種別
臼杵市	コスモス病院	198	一般
		4	一般（感染）
	7医療機関	45	一般
		74	一般（障害）
		114	療養
		120	精神
野津町	3医療機関	39	一般
		15	療養

九州厚生局 施設基準届出状況より

市内唯一の救急病院365日
22時～8時半までの救急患者の対応をしている

受診（入院）者は9割は
臼杵市民

平均年齢：63歳

最頻：70～80歳

臼杵市民のために高齢者を中心とした医療を実践している

しかし、臼杵津久見地区には
回復期リハ病棟はなし



地域包括ケアシステム構築
が必要

臼杵市の介護サービス施設定員状況

【介護保険施設】		定員
介護老人保健施設	3施設	236
介護老人福祉施設	3施設	188
介護療養型医療施設	2施設	36
【地域密着型サービス】		
グループホーム	5施設	90
【有料老人ホーム／サービス付高齢者住宅】		
有料老人ホーム	8施設	167
サービス付高齢者住宅	2施設	59
特定施設入居者生活介護	1施設	30

合計806名

すでにほとんどの施設が定員に達している状況

在宅医療拠点としての取り組み

プロジェクトZ “Z”は“在宅”の頭文字

(臼杵市役所・臼杵市医師会・中部保健所・地域包括支援センターの協働)



「プロジェクトZ」は、
ＩＴ班、啓発班、研修班、
防災班、地域医療リーダー班
に分かれ、在宅医療介護連携
の拠点として活動中。

「うすき石仏ねっと」は、
臼杵市内の医療機関等を結ぶ
情報ネットワーク。

「石仏カード」を提示する
ことで、様々な医療機関に
あるデータを共有することが
可能。

薬局や介護保険関連事業者
とも情報の一部を共有できる
ネットワークが進展中。

プロジェクトZ14

「自分らしい生き方を選択しましょう」（市民への提案）

- ・「住み慣れた場所」がいいですね
- ・「人生の終え方」を考えましょう

☆医療と介護の連携と実践力の向上（研修・交流）

- ・それぞれの立場での連携力の向上
- ・顔の見える関係の構築
- ・認知症があっても安心して暮らせる地域
- ・地域で行われる研修の把握と活用

☆予防事業から看取りに至るまで一環した概念の共有

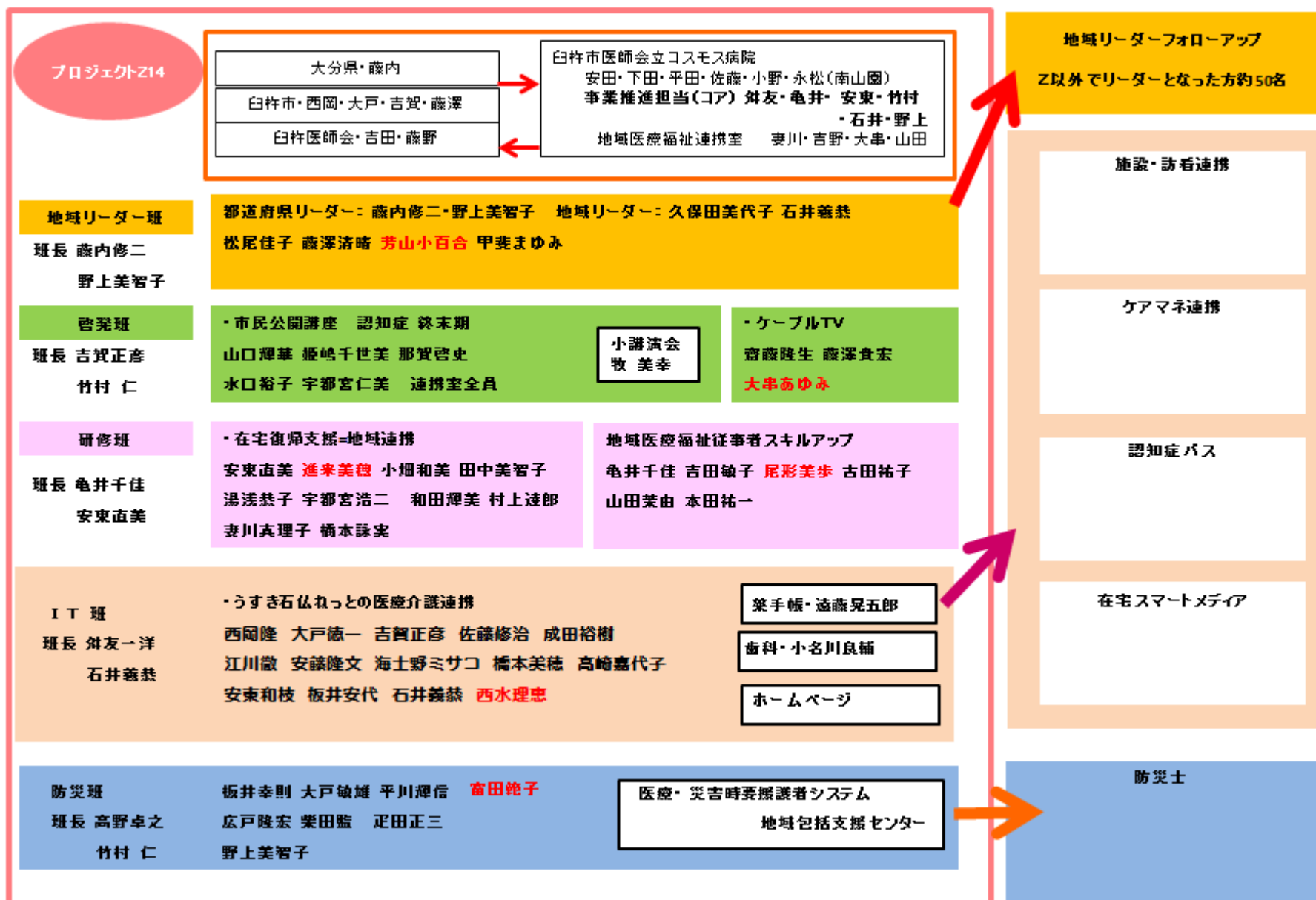
- ・地域包括ケアの視点
- ・「うすき石仏ねっと」の利活用

在宅医療連携拠点のコア会議



- コアメンバー6名（医師・MSW・看護師・理学療法士・地域包括支援センター）
- 毎週、朝8時から（臼杵市まちづくり推進室長も適宜参加）
- 核となるため、情報集約と情報共有
- 地域をひとつのチームへ、それぞれの立ち位置をフラットに

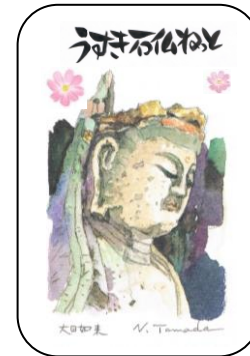
プロジェクトZ14 組織図



「うすき石仏ねっと」情報の流れ

うすき石仏ねっと

地域共通ID

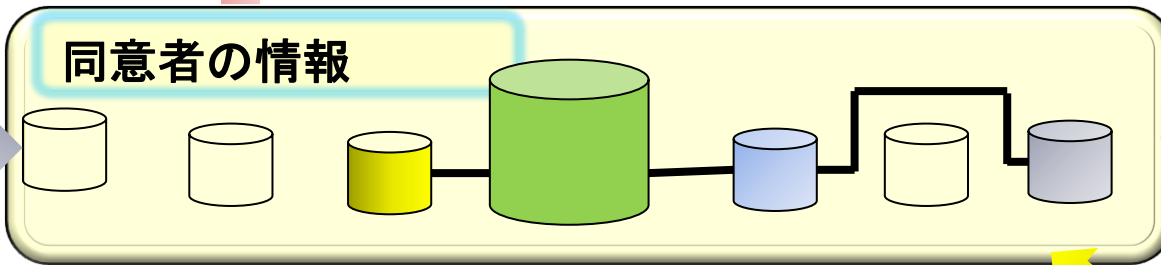


閲覧



データ集約統合型データベース

同意者の情報



歯科

居宅介護事業所

訪問看護ステーション

介護施設

診療所

病院

薬局



臼杵市医師会立コスモス病院

介護連携として共有する情報



2222病院 医師 一郎

紹介状

患者情報

サマリ

看護情報

介護連携

経過

医療情報管理

身体・精神機能

ADL・IADL

生活情報

管理

その他

患者検索

トップ画面へ

患者情報



10001477

昭和17年1月19日 (71歳)

白杵 太郎 (ウスキタロウ)



ログオフ



医療情報管理— 1

前画面に戻る

2013- 8-23 近藤内科 首藤
2013- 8-18 近藤内科 加藤
2013- 7-15 コスモス 遠藤
2013- 6-10 舩友医院 後藤
2013- 5-12 コスモス 佐藤

医療管理情報	管理者	詳細	指導内容 他
自己注射 SMBG	☐ 本人 ☐ 家族 ☐ 訪看 ☐ その他	注射名 単位・時間 注射名 単位・時間 SMBG 糖尿病連携手帳 ☐ 無し ☐ 有り	
酸素療法	☐ 本人 ☐ 家族 ☐ 訪看 ☐ その他	酸素量 安静時 l/ 労作時 l/ その他 l/ 業者連絡先	
経管栄養	☐ 本人 ☐ 家族 ☐ 訪看 ☐ その他	栄養剤名 注入時間・量 1 回に要する注入時間 カテーテル種類・交換日・場所	
点滴	☐ 訪看 ☐ その他	使用薬剤 頻度 点滴時間	
中心静脈栄養	☐ 本人 ☐ 家族 ☐ 訪看 ☐ その他	使用薬剤 ハック交換時間 ☐ ポート ☐ PICC 輸液速度 ☐ CV ルート交換日 ポンプ業者連絡先	
血液透析		使用薬剤 頻度 点滴時間	
膀胱留置 カテーテル 導尿	☐ 本人 ☐ 家族 ☐ 訪看 ☐ その他	カテーテル種類・大きさ 交換頻度 最終交換日 おおよその 1 日尿量	
人工肛門	☐ 本人 ☐ 家族 ☐ 訪看 ☐ その他	パウチ種類 便破棄 誰が 交換頻度 皮膚トラブル ☐ 有 ☐ 無 購入方法 アクセサリ種類	

生活機能評価の共通認識（看護部）

患者情報



IADL

登録日	施設	登録者
2014-04-07	コスモス病院	安東

登録日	2014年4月7日	登録者	コスモス病院 安東
炊事	○ 1	自立度（楽にできる）	
洗濯	○ 2	自立（少し難しい）	
掃除	× 1	判定不能（改善可能性高い）	
買い物	× 2	困難度と改善可能性（改善可能性低い）	
ゴミだし	－	判定不能	
通院	× 2	困難度と改善可能性（改善可能性低い）	
外出頻度	○ 2	自立（少し難しい）	
服薬	× 2	困難度と改善可能性（改善可能性低い）	
金銭管理	× 2	困難度と改善可能性（改善可能性低い）	
電話	－	判定不能	

生活機能評価の共通認識（リハビリ部）

リハビリテーションサマリー

〒875-0051 大分県臼杵市戸室長谷1131番地1
臼杵市医師会立コスモス病院
リハビリテーション部
TEL:0972-62-5569

担当者 担当スタッフ 御机下

平素より大変お世話
下記患者様の入財

患者姓名

患者情報	氏名 入
転帰	

診断名

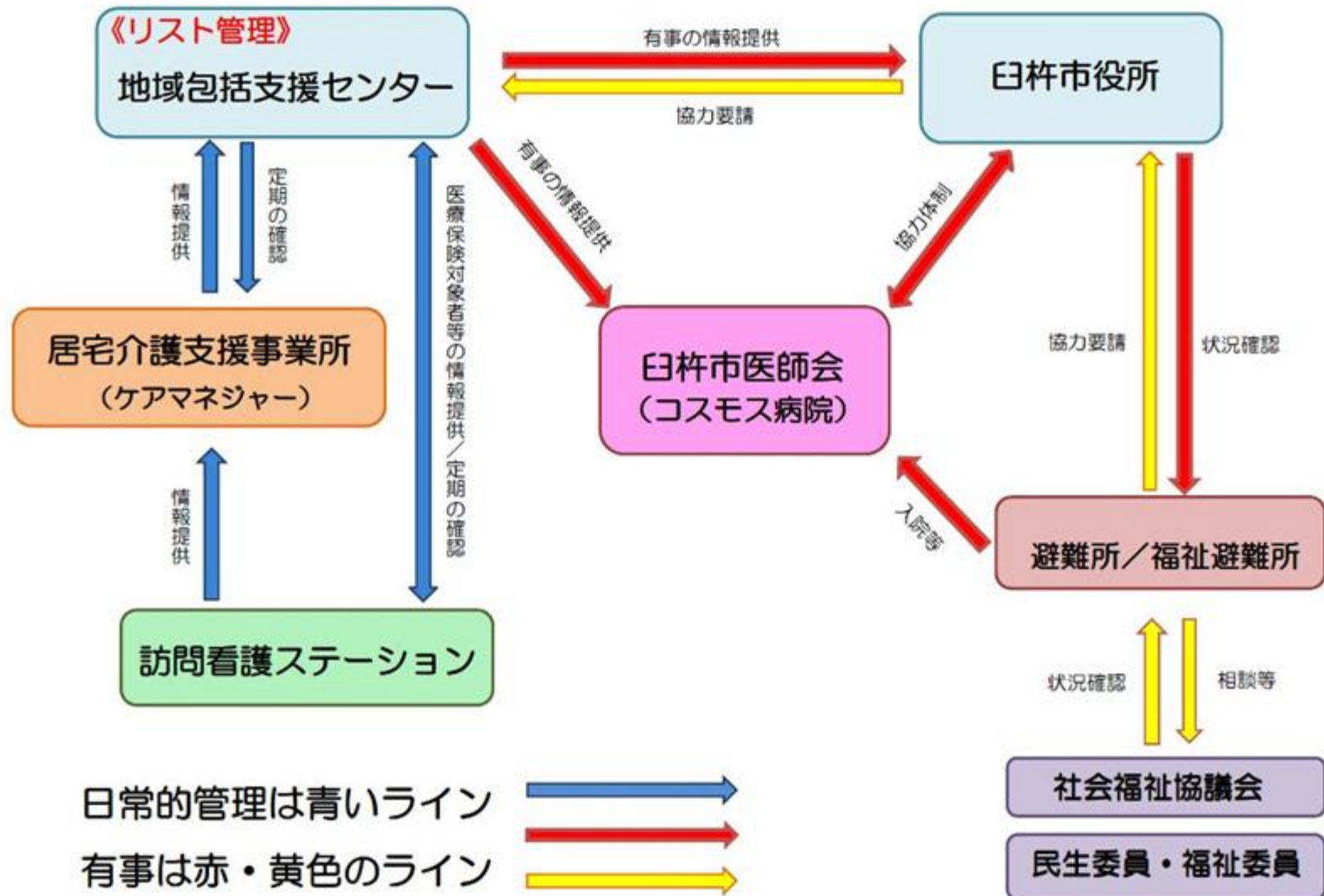
＜理学部＞

A D L		退院時	備考
	食事		
	排泄		
	入浴		
	整容		
	更衣		
	室内歩行		
	屋外歩行		
I A D L	炊事		
	洗濯		
	掃除		
	買い物		
	ごみ出し		
	通院		
	外出頻度		
	服薬		
	金銭管理		
	電話		
認知症高齢者の判定		日常生活自立度	

入院時評価 (月 日)			退院時評価 (月 日)			
ADL	食事	退院時	備考	音声・発話機能		
	排泄					
	入浴					
	整容					
	更衣					
	室内歩行					
	屋外歩行					
IADL	炊事			摂食・嚥下機能		
	洗濯					
	掃除					
	買い物					
	ごみ出し					
	通院					
	外出頻度					
	服薬					
	金銭管理					
	電話					
認知症高齢者の判定		日常生活自立度		備考		
経過・コメント						

災害時に備えたネットワーク

“災害時医療要援護者の把握”と“有事の情報提供”の流れ



災害時医療要援護者の把握

ID	氏名	人工呼吸機	気管切開	HOT	吸引	経管栄養	経膜透析	ストマ	IVH	バルーン	点滴	褥瘡	疼痛管理	具体的な医療処置(必要な医療物品や服薬内容など)	その他の留意点(日常生活上の必要な配慮など)	事業者	追加日
0024	-							○						サトームディカル デュラヘーシブ 45mm パウチ 45mm	補聴器使用 両耳 眼鏡 遠視 血圧 安定剤 便秘薬(カマグ0.5+フォルセニッド 12mm 1錠) 胃薬	包括	
0031	-							○	○					IVH専用バック所持(ビーフリッド1000ml)して歩行。CVCポート使用中→ルートのチェック、カフ ディポンプチェック 電池交換、土曜日/週1回 刺入部 訪看にて観察中。小腸ストマ(パウチ 1 回/3日)で交換。	上腸間膜動脈壊死にて人工肛門置 設パウチ使用	包括	2013/4/8
0032	-			○										酸素濃度(1.5単位)江藤酸素	リウマチの既往あり	包括	
0035	-			○										据え置き型 在宅酸素(TED.BNハイサンノ3R) 携帯用酸素ボンベ(サンノセーバーⅡ) 安静時、体動時共にO2 2ℓ/min 主治医 ●●HP ●●●●●Or In 097-597-●●	慢性腎不全にて3回/W(月、水、 金)●●療科にて透析施行。リウマ チ肺は再燃にてHOT導入。H16年、 頸髄不全傷(左上下肢に麻痺残存) にて現在車椅子生活。徐々にADL 低下しており、自力での車椅子等へ の移乗が困難な状態で立位保持で きない	のつ指定	
0043	-			○										毎日ではないが、唾液や痰が喉にたまって吸引 が必要な場合がある。週1回の訪問看護と療養 デイサービス週2回利用	食事、水分摂取の際、誤嚥の危険 があり介助に技術を必要とする	高橋ケア	
0044	-									○				バルーンカテーテル留置につき、2週毎に訪問看護 にてカテーテル交換実施	自己主張が強く、他人の言うことを 聞きいれない傾向あり	高橋ケア	
0025	-			○										酸素療法・・・0.5ℓ 発熱時は2～3ℓにする 病名 関節リウマチ、リウマチ肺、慢性気管支炎、 陣发性心筋梗塞、不安型糖尿病、神経症 服薬 セイブル錠 50mg アクトネル錠 2.5mg プレドニン錠 5mg ニューロタン錠 25mg 他	両下肢筋力低下があるが数mなら 自力歩行可能。総合失調症による 妄想、幻覚症状は顕著。全く人を受け 入れず、サービス拒否し、娘さん 一人で介護中。外出拒否は顕著で、 連れ出すことが困難。2～3人で毛 布にくるみ抱える必要がある。	四季の部	

防災をキーワードとしたコミュニティ作り

- 30年以内に70%の確立で発生するといわれる南海・東南海トラフ地震の津波対策として、防災をキーワードに地域のつながりを強化。
- 災害時に地域のリーダー役になる防災士を、平成24年度、平成25年度の2年間で444名養成し、地域振興協議会とほぼ同じ、旧小学校区ごとの市内全エリアに防災士連絡協議会を設置。また、全国初の女性防災士連絡協議会も設けた。
- 自治区ごとの小規模エリアを中心に、年間約40回の避難訓練を実施し、災害がいつ起こっても、地域で支え合いの仕組みができるよう体制を整えている。

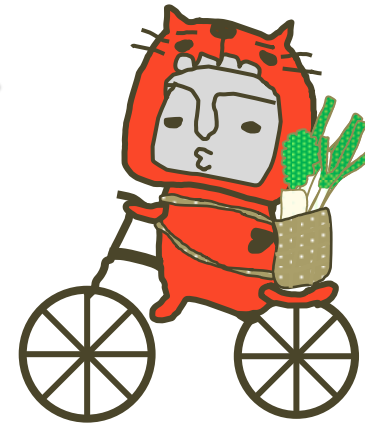


〔 防災士による応急担架の実技 〕



〔 避難訓練後の防災グッズの説明 〕

認知症や生活困窮者対策で つなぐ連携の輪



臼杵市が推進する認知症対策の4つの柱

目指す姿：認知症予防のできるまち、認知症になっても安心なまち

柱	事業名	目的
認知症の正しい知識の普及啓発	臼杵市認知症市民フォーラム	全国で活躍される先生の講話を、幅広く多くの市民に聞いてもらい、認知症についてより正しく理解を深めてもらう。
	なるほど認知症講座	小学校単位で、認知症について分かりやすく講演を行い、認知症を知ってもらう。 認知症が脳の病気であること、早期発見により症状の進行を遅らせることができることを普及啓発していく。
	認知症学ブック	認知症について、どんな病気なのか？症状は？接し方はどうすればよいか？という疑問に答える形で作成。 普及啓発の一つ
	サポーター養成講座	認知症を正しく理解して、認知症の人や家族を温かく見守る応援者の養成。
認知症の早期発見と早期診療ができる体制づくり	タッチパネルによる脳の健康チェック なるほど認知症講座でのタッチパネル式 早期診断システム利用	認知症の早期発見として実施。 原則、なるほど認知症講座を聞いて『認知症について理解』をした方を対象とする。
	タッチパネルテスト12点以下の方の相談会 ADASの実施	一次検診12点以下の方のフォロー 認知症専門医によるADASの実施 結果に応じて、専門医より、かかりつけ医へ結果を伝え、早期診療へつなげる。
認知症の方を介護している家族への支援	家族支援プログラム 介護者の集い	同じ悩みを抱える仲間作りを促すことにより、認知症の方を介護している家族への負担軽減を図る。
認知症支援ネットワークの構築	認知症地域資源マップ (お助けマップ)	市内の医療機関、介護サービス事業所、認知症の相談・対応のできる所、認知症キャラバンメイトのいる事業所を『認知症に優しいお店・事業所』として登録し、それらをマップにして市民に周知する。
	認知症サポーター養成講座	認知症を正しく理解して、認知症の人や家族を温かく見守る応援者の養成。
	認知症キッズサポーター養成講座	大人だけでなく、子どもにも認知症に対する正しい知識の普及啓発と、認知症の人や家族への接し方を学んでもらう。

臼杵市での認知症対策

◎ 日常生活圏域ニーズ調査

全域調査（要介護3以上を除く、70歳以上の方を対象）

◎ コミュニティー連絡会議

行政職員や介護事業者など「顔の見える関係づくり」を促進することが目的

毎月第3火曜PMの午後

終了後に事業種別の専門部会を開催し、横のつながりも強化



◎ 認知症サポーター養成講座



4,500人以上が受講し、人口比率では県下有数

キッズサポーター養成、キャラバンメイト連絡会も実施

臼杵市の認知症に対する取り組み

自分のために… 家族のために…

知っておきたいこと、得する情報

を集めました。

臼杵市認知症

2013版



まな
学フック

このフックは、認知症について、
ひとりで、好きな時に、学べるよう
作成したものです。

認知症を正しく理解していただき、
「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」
にご理解・ご協力をお願いいたします。

【作成・編集 臼杵市高齢者支援課 認知症担当】

冊子やインターネットを
使って、認知症を正しく
知ってもらうための啓発
活動

<http://www.city.usuki.oita.jp/docs/2014020700152/>



臼杵市の認知症を考える会での取り組み



◎ 認知症市民フォーラム

2年に1度

第1回	1,600名参加
第2回	1,300名
第3回	800名（台風接近のため）

小学校区単位で開催
年2～3地区で実施
過去8回

◎ なるほど認知症講座



臼杵市の認知症を考える会での取り組み

◎多職種事例検討会（年3回）

認知症の方への対応を
多職種で検討



《目的》

保健・医療・福祉スタッフの
ネットワークづくり

認知症について、共通理解を
持つ

他職種への理解を深める

医療関係者、行政職員、介護
従事者など、毎回100名前後
参加

平成26年11月6日（木） 第6回 多職種事例検討会

多職種事例検討会でのグループワーク手法



《KJ法》



《スーパービジョン》

職種間の視点の違いや気づきを
楽しみながら、和気あいあいと
した雰囲気で開催

大分認知症カンファレンスで
見える事例検討会（見え検）の
ファシリテーターを46名養成



《見える事例検討会》

地縁を基盤にした
まちづくりの仕掛け



地域包括ケアに向けた連携体制

「市町村の覚悟」＝「地域包括支援センターの覚悟」



多様な業務をバックアップ

（方針・人員・業務委託費・スキルアップなど）

「市町村の本気」＝「住民の本気」（生活支援/介護予防の主役）



発掘・維持・展開する仕掛け作り

（人材・費用・活動の提案など）

※ 生活支援コーディネーターの活用が“鍵”

「医療/介護連携」＝「医療→介護」への方向性



相互に連携する回数を増やす

（プロジェクト活動・多職種事例検討会
各種研修会など）

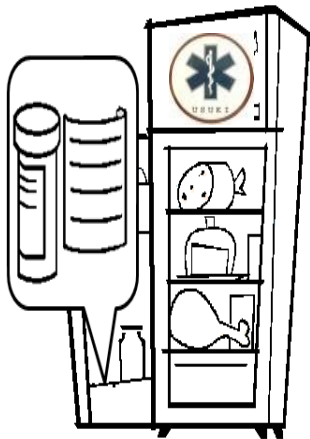
安心生活お守りキット

事業開始後1年のH23年4月までに3,800人が申込み（累計）
その後の更新作業で約2,700人の新規申込み

現在の申込者数…6,593人（累計）

※ 亡くなった方などを除く実数は5,606人
（全対象者のおよそ8割以上に普及）

約630件の救急現場で活用！
（平成22年4月～平成26年3月）



ステッカー、
マグネット

日付市 お守りカード（携帯用）					
氏名	うすき たろう	性別	男	電話	0972-63-0000
生年月日	昭和 5 年 1 月 1 日	血液型	A 型		
住所	日付市大字日付市〇〇-35				本町〇組
緊急連絡先					
氏名	連絡	電話番号1	電話番号2		
日付市一部	長男	097-000-0000	090-0000-0000		
大分次郎	友人	0972-64-0000	080-0000-0000		
かかりつけ医療機関					
病名	科目	担当医	氏名	電話番号	
〇〇病院	呼吸器科	市浜太郎	せんそく	0972-64-XXXX	
△△総合病院	循環器科	下南月子	高血圧	097-543-XXXX	
介護保険の事業所					
事業所名	電話番号				
〇〇介護事業所	0972-64-〇〇〇〇				

（平成22年5月14日作成）

携帯用
お守りカード

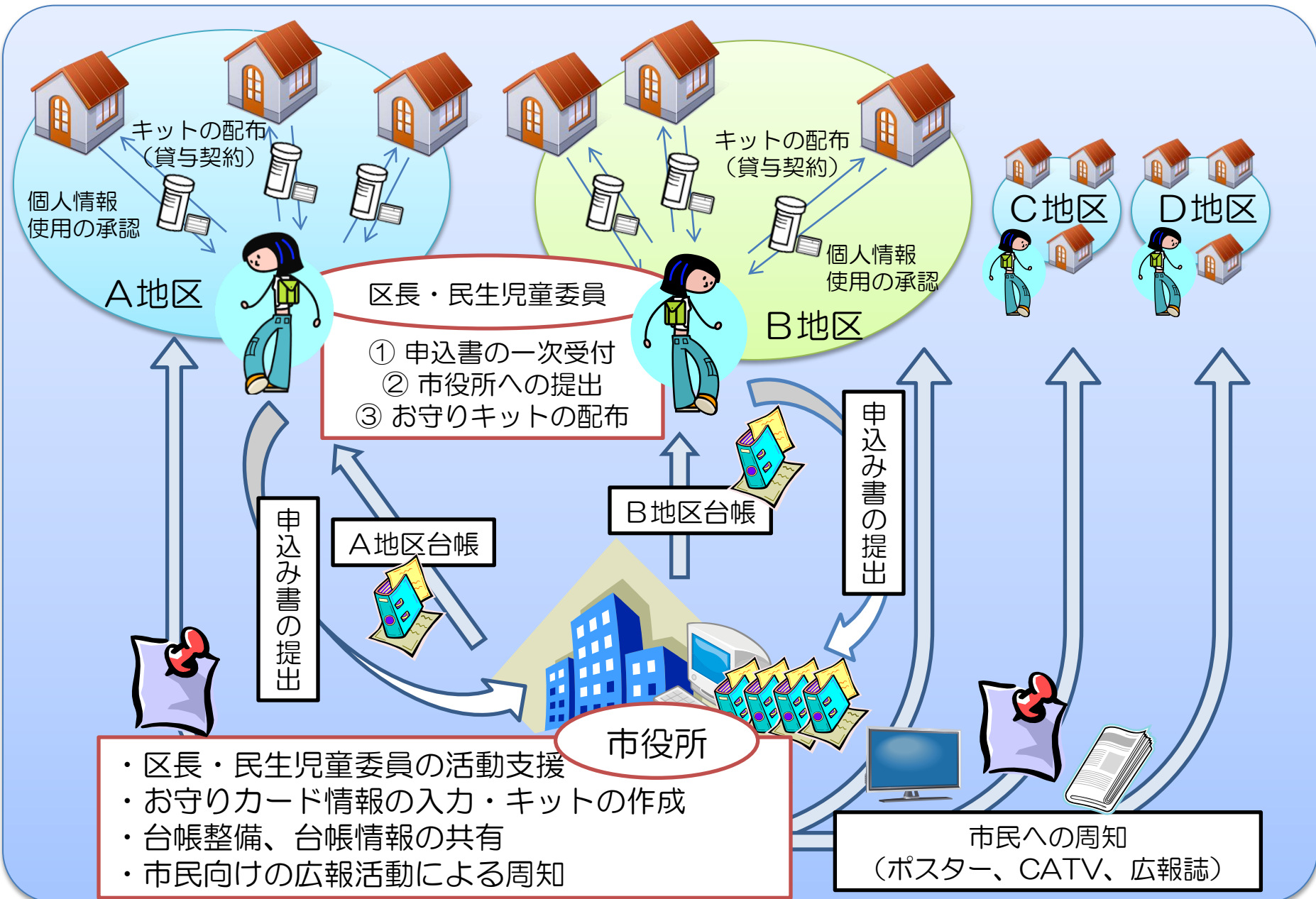
お守りカード（冷蔵庫用）			
氏名	生年月日	性別	血液型
日付市 太郎	昭和 5 年 1 月 1 日	男	A 型
電話番号	住所		
0972-63-0000	日付市大字日付市〇〇-1 本町〇組		
家族氏名	家族住所	1234567	
緊急連絡先氏名	性別	電話番号	住所
日付市 一郎	長男	097-000-0000 090-0000-0000	大分市青森町△△-〇〇
大分 次郎	友人	0972-64-0000 080-0000-0000	日付市大字日付市〇〇-△△
かかりつけ医療機関 ①		かかりつけ医療機関 ②	
病 名	〇〇病院	△△総合病院	
科 目	呼吸器科	循環器科	
担当医	市浜太郎	下南月子	
病 名	ぜんそく	高血圧	
所 在 地	日付市〇〇12-3	大分市〇〇4-5-6	
電話番号	0972-64-XXXX	097-543-XXXX	
介護保険の事業所		所在地 電話番号	
〇〇介護事業所		日付市〇〇667-1 0972-64-〇〇〇〇	
ふだん使っているところ		1階 居間の隣の和室	

冷蔵庫用
お守りカード



プラスチック製
容器

地域の区長・民生児童委員の活躍がカギ



ゆうびんやさんと市役所が真心をお届けするサービス (ひまわりサービス)

- ・ 毎年お守りキットの全登録世帯に意向確認を実施し、サービスの利用を希望する世帯に対し、郵便配達時の声かけを実施
- ・ 平成24年度802世帯、平成25年度1,062世帯、平成26年度1,143世帯が対象

コミュニティだより

真心サービス出発！

1月24日、「ゆうびんやさんと市役所が真心をお届けするサービス」(ひまわりサービス)の出発式が郵便事業株式会社臼杵支店で行われました。このサービスは、安心生活お守りキットの申込みをしていただいた方に対し、郵便配達員さんが郵便物などを配達する際に「お元気ですか」「お変わりありませんか」などの励ましの声かけを行う取り組みです。出発式では中野市長からのお礼の言葉に続き、郵便事業株式会社臼杵支店の中田支店長が「郵便をお届けする方に対し、気持ちよく声かけしましょう」とあいさつしました。

「お元気ですかはがき」が届いた方からは「声をかけてもらい、大変うれしかった。私自身も近所の人などに積極的に声をかけていきたい。感謝の気持ちを郵便局の方にも伝えて欲しい」「お声かけ、ありがとうございます。うれしくて、元気づけられました」などのご意見が寄せられました。

始をお知らせする「お元気ですかはがき」を送送しており、テープカット後、ハガキの発送のため、配達員さん20人がバイクで一斉に郵便局を出発しました。




今回は「ゆうびんやさん」の声かけを希望された455世帯に対し、臼杵市からサービスの開始

こんにちは、
臼杵市長の平野直樹です。
みなさん、お元気ですか。

以前お知らせしたとおり、1月24日から郵便配達時の声かけサービスが始まります。これから、皆さんのお宅に郵便物が届けられる際に、郵便配達員さんがお声かけすることがあると幸いですので、風さくにあいさつなどをかわさってください。

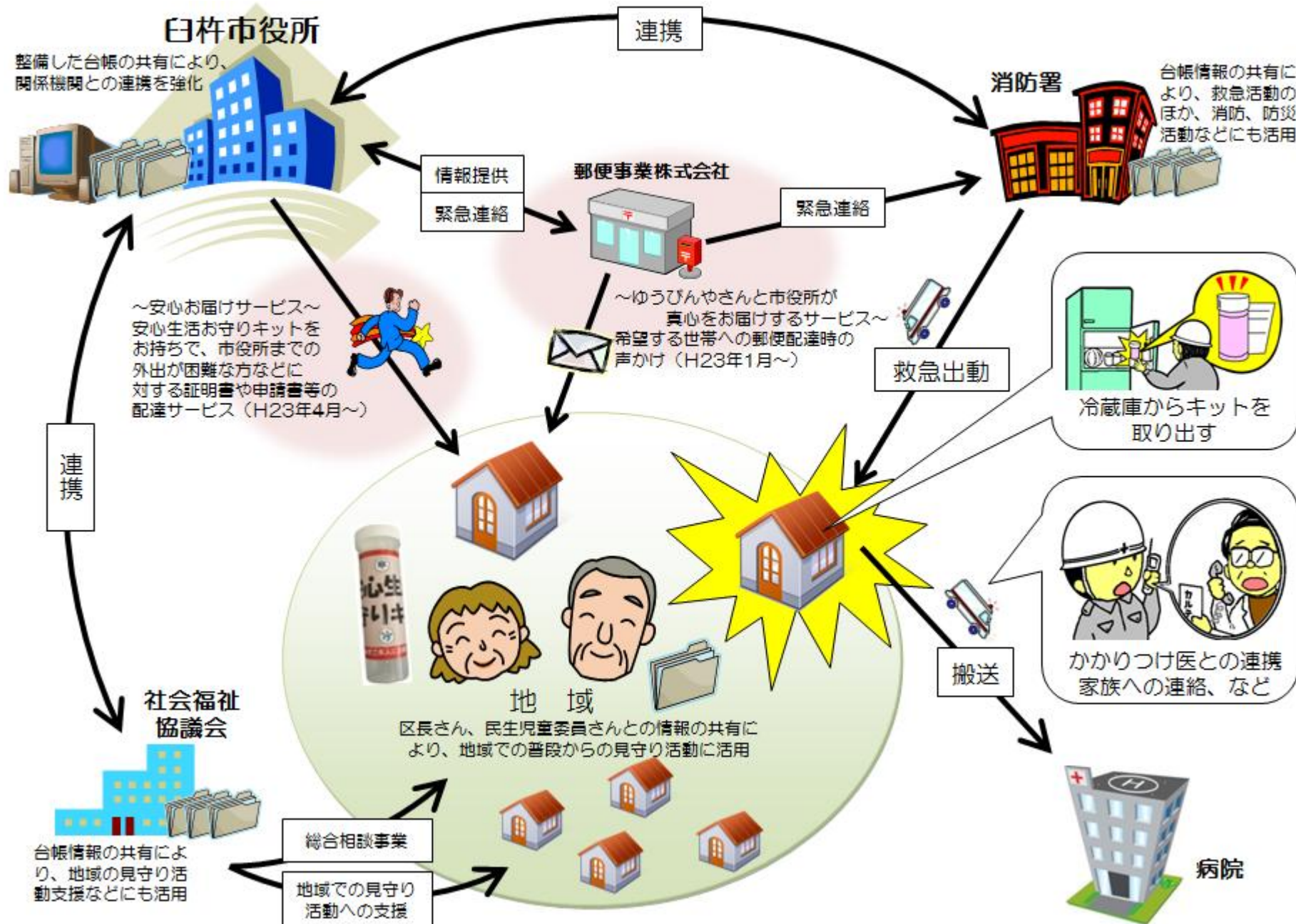
臼杵市役所
0972-83-1111
内線 3126

臼杵市市民後見センターの設立（平成26年4月～）

- ・ 認知症高齢者など判断能力が低下しても、地域で安心して暮らしていけるよう、成年後見制度の利用促進のために、社協に臼杵市市民後見センターを設置。
- ・ 制度に理解を示し、身上監護など寄り添った支援を行う市民後見人（支援員）の養成講座により、平成25年度に14名、平成26年度に17名が登録。後見が必要な状態になっても、社協を通じて、地域で馴染みのある人に見守られながら安心して暮らしていける基盤がスタート。
- ・ 事業がスタートして、すでに4件のケースを受任しており、今後は、後見が必要な人の掘り起こしなどにつなげていく（潜在的に少なくとも数十人の単位でいる見込み）。



あらゆる関係機関が連携し、市民を守る仕組み



介護予防サポーター養成講座（1～4期生）

『ほっと生き生きサポーター』

- 地域の健康教室講師や保健師の補助などを行うサポーターの養成
- 現在60名を養成
- 本年度も15名養成予定

回	日程（予定）	内 容	講 師
1	11月8日（月）	開講式／介護予防と運動の意義／運動実践	大分県地域成人病検診センター 健康運動指導士
2	11月22日（月）	生活習慣病の予防と運動時の注意／運動実践	臼杵市医師会立コスモス病院 理学療法士
3	12月6日（月）	関節、筋肉の仕組みと運動時の注意／運動実践	臼杵市医師会立コスモス病院 理学療法士
4	12月20日（月）	バランスよい食事の基礎知識／介護予防と口腔ケア／運動実践	管理栄養士／歯科衛生士 臼杵市医師会立コスモス病院 理学療法士
5	1月6日（木）	認知症の理解と予防（認知症サポーター研修）／運動実践	認知症キャラバンメイト 臼杵市医師会立コスモス病院 理学療法士
6	1月17日（月）	緊急時の救急対応（救命講習）	消防署職員
7	1月31日（月）	レクリエーションの紹介／指導時の注意／運動実践	大分県地域成人病検診センター 健康運動指導士
8	2月14日（月）	閉講式／地区活動の紹介／運動実践	大分県地域成人病検診センター 健康運動指導士



中野五郎市長から修了証書を受ける1期生

ターゲットを想定した講演会

平成25年度
福祉推進
研修会

高齢者が 元気になるための 地域包括ケア

日時 平成26年3月1日(土)
10時～11時半

場所 臼杵中央公民館
大ホール

9:30～ 受付開始

10:00～10:10 挨拶 社会福祉法人臼杵市社会福祉協議会 会長 安藤 恵美
臼杵市地区福祉推進協議会連絡会 会長 斉藤 勝美

講演1	講演2	講演3
10:10～10:35	10:35～11:00	11:00～11:25
「大分県が取り組んでいる 地域包括ケア ～県民相互で取り組む自立支援～」	「わたしのまちの地域包括ケア ～臼杵市の取り組み～」	「もし、脳卒中で倒れたら! あなたのリハビリ、 説明いたします」
大分県高齢者福祉課地域包括ケア推進班 田井 祐二	臼杵市医師会地域包括支援センターコスモス 石井 義恭	臼杵市看護会立 コスモス病院リハビリテーション部 伊藤 多恵

主催 社会福祉法人 臼杵市社会福祉協議会
臼杵市地区福祉推進協議会連絡会

共催 中部圏域白津地域リハビリテーション広域支援センター(臼杵市医師会立コスモス病院)
臼杵市医師会 地域包括支援センターコスモス
臼杵市

新しい地域支援のあり方を考える フォーラム in おおいた

～みんなであつなごう、助け合いの輪～

日時: 2014年11月26日(水)
13:00～16:30

場所: 臼杵市中央公民館

定員340名(先着順受付)

参加費無料

私たちは、できるだけ最後まで住み慣れた自宅で安心して暮らせるよう地域包括ケアのまちづくりを、と呼びかけてきました。
新しい介護保険の仕組みや助け合いが地域に広がり、高齢者や障がいのある人を問わず、誰もが安心して暮らせる共生型の社会をつくるためにはどうするべきなのかを厚生労働省、さわか福社財団からの最新情報をもとに、行政・事業者・地縁組織や住民など、皆さんと一緒に考えましょう。

プログラム

12:30 開場

13:00 開会あいさつ 趣旨説明

13:10 基調講演①「介護保険制度改正の内容と方向について」
厚生労働省老健局振興課 課長補佐 服部 真治

14:00 基調講演②「これからの地域支援のありかたについて」
公益財団法人さわか福社財団 会長 堀田 力

14:50 パネルディスカッション「新しい地域支援の仕組みを考える」
～那覇市・袋井市・臼杵市の事例を通して～

16:30 閉会

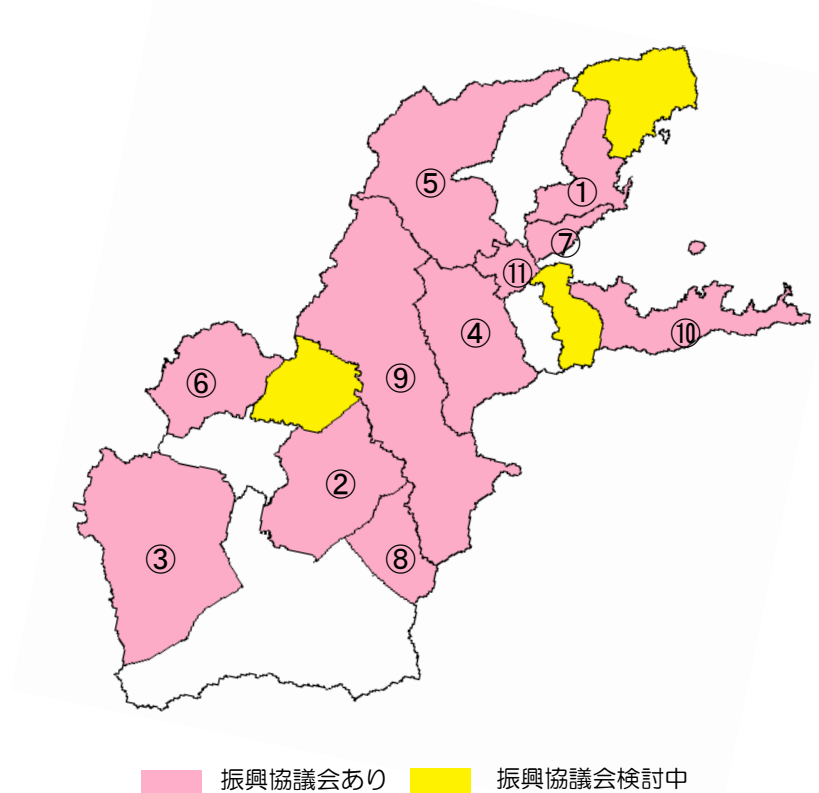
主催 : 公益財団法人さわか福社財団、NPO法人地域ケア政策ネットワーク
共催 : さわか九州1ブロック
後援予定 : 厚生労働省、全社協、日本生協連、大分県、大分県社協、臼杵市
協賛 : 住友生命保険相互会社

まず民生委員や自治会役員の方々に
理解を深めてもらう

地域振興協議会

	協議会の名称	校区	認定時期
①	下ノ江地区ふれあい協議会	下ノ江	平成21年10月
②	田野地区振興協議会	田野	平成21年10月
③	寺子屋ん会	南野津	平成22年4月
④	振興協議会 たていし	下南	平成22年7月
⑤	上北地区地域振興協議会	上北	平成22年10月
⑥	戸上地区振興協議会	戸上	平成23年3月
⑦	あまべ振興協議会	海辺	平成23年4月
⑧	西神野地域活性化推進協議会	西神野	平成23年4月
⑨	南津留地区地域振興協議会	南津留	平成24年2月
⑩	上浦・深江振興協議会	上浦・深江	平成25年5月
⑪	市浜地区振興協議会	市浜	平成26年3月
検討中	都松地区	都松	
	佐志生地区	佐志生	
	中央区	臼杵	
未定	下北地区	下北	
	南部地区	福良ヶ丘	
	野津地区	野津	
	川登地区	川登	

現在までに設置している地区



※ 臼杵市内には統廃合前の小学校区が約20あり、そのうち11地区で地域振興協議会が設立され、活動しています。

※ 臼杵市では既に設置している地域振興協議会の活動を継続的に支援していくとともに、他の地区の設立に向けた準備も支援していきます。

「地域振興協議会」について

少子高齢・人口減少の現実を見据えた対策のひとつとして、旧小学校区ごとに「地域振興協議会」という組織を設置を推進し、将来的に臼杵市の地域活動の中心を担っていくよう支援。（平成21年度～）

～枠組みを超えた連携 元気で安心なコミュニティづくり～

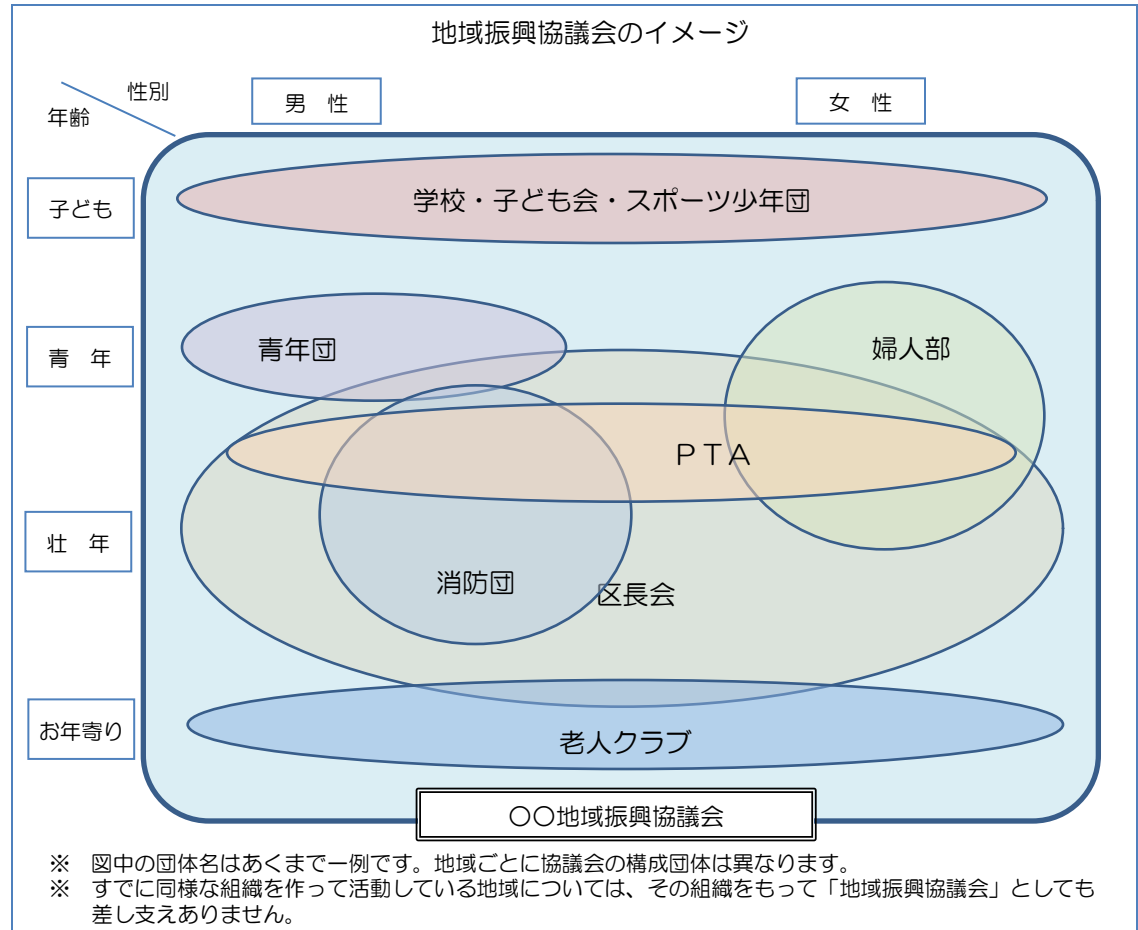
右の図にあるように、地域内には様々な活動団体がある。これらをひとまとめにした組織が「地域振興協議会」

地域内の団体が世代や性別の枠を超えて連携することで、それぞれの活動がさらに活性化。また、地域のみんなの顔が見える関係を築くことにより、地域の一体感や日常生活での安心感を作りあげることが目的としている。

協議会の設置は市が強制するものではなく、協議会の名称や活動内容などは、地域の特性にあった形で自由に決めてもらう。

高齢化が進み、人口が減っても、みんなが参加することで、より長く活動が続けていくことができる。

市役所はそのためそれぞれの地域の活動を支援。



地域コミュニティ活性化のイメージ

活動のテーマ

地域福祉

見守り・声かけ
ミニデイ・サロン
安心生活お守りキット
なるほど認知症講座
黄色い旗運動
など



健康増進

健康教室
スポーツ大会
地区体育大会
地域スポーツクラブ
料理教室
など



子育て

三世交代交流
あいさつ運動
登校指導
放課後児童クラブ
学校行事
など



防災活動

避難訓練
防災訓練
防災士活動
消防団活動
防災パトロール
など



文化活動

生涯学習
地域の歴史学習
伝統芸能の伝承
文化祭
音楽祭
など



その他

イベント
環境美化活動
フリーマーケット
直販所の運営
地域の人材発掘
など



色んな人に出番がありそれぞれの持ち味を発揮し、
連携・協力し合って地域ごとの課題に取り組み、住みよい地域づくり

地域内の活動主体

自治会（区長会）

民生児童委員

福祉委員・健康づくり推進員

認知症サポーター

食生活改善推進協議会

ほっと生き生きサポーター

体育協会・体育指導員

スポーツクラブ

学校・PTA・子ども会

青少年健全育成会

婦人会・女性部

青年部

消防団

自主防災会・防災士

防犯協会

交通安全協会

伝統芸能保存会

生涯学習活動団体

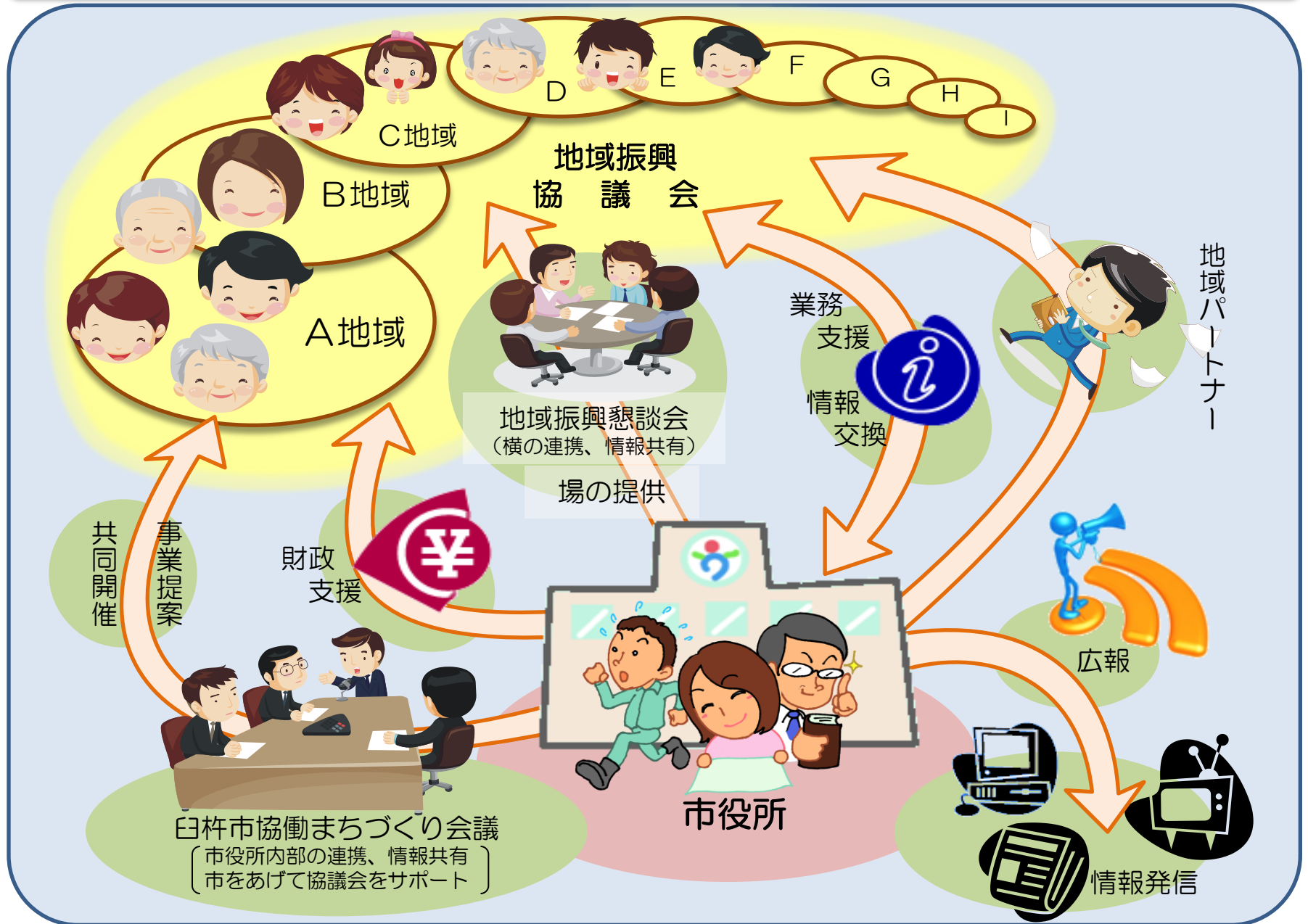
老人会／老人クラブ

さまざまな分野の達人たち

その他、地域内の団体や個人

地域振興協議会

臼杵市が行う地域振興協議会への支援



臼杵市お達者長生きボランティア制度

1. 目的

高齢者の社会参加及び地域貢献を奨励し、ボランティア活動を通じて高齢者自らの介護予防を促進するとともに、元気な高齢者が暮らす地域社会を作ることを目的としています。

2. 内容

ボランティア対象者	臼杵市の介護保険第1号被保険者(65歳以上の高齢者)(あらかじめ登録が必要。ボランティア手帳を交付)
受入施設等	介護保険適用施設、障がい者施設、小中学校、幼稚園、保育所、自治会、地域振興協議会 等
ボランティア活動事例	①レクリエーション等の指導及び参加支援、②散歩、外出、屋内移動の補助、③模擬店、会場設営、芸能披露等行事手伝い、④話し相手、傾聴、講話等、⑤読み聞かせ、登下校の見守り、伝統芸能等の講師 等
ポイントの付与 及び交換	概ね1時間のボランティア活動につき100ポイント(スタンプ1個)を付与(1日2個上限) 100ポイント(スタンプ1個)につき100円を交付。但し、5,000円上限

3. 登録状況及びポイント交換実績

ボランティア登録者数
282名

受入施設等登録数
93箇所

ポイント交換申請者数
88名
※5,000ポイント以上
13名

ポイント交換額
147,700円

高齢者ボランティアポイント事業（平成25年10月～）

高齢者の社会参加及び地域貢献を奨励し、ボランティア活動を通じて高齢者自らの介護予防を促進するとともに、元気な高齢者が暮らす地域社会を作ること

を目的にポイント制度を導入

みんなの役に立ちたい、そして自分も元気に！

臼杵市お達者長生き ボランティア制度参加者募集！

10月1日から高齢者ボランティアポイント事業がスタートします。

「お達者長生きボランティア制度」ってどんな制度？

高齢者（65歳以上の方）が介護保険適用施設、障がい者施設、学校施設、保育施設、自治会や地域振興協議会などでボランティア活動を行った場合にポイントを付与し、ポイント数に応じて現金や商品券などに転換できる制度です。

どうやったら参加できるの？

- 参加できる方は、臼杵市に住所を有する満65歳以上の方です。（臼杵市の介護保険第1号被保険者）
- ボランティア希望者は、市役所にボランティア登録申請書（裏面 様式第1号）を提出していただき、ボランティア手帳の交付を受けます。
- ボランティア登録後、ボランティアを募集している施設などをお知らせしますので、活動内容などを参考に直接施設や自治会などにお申し込みください。

ポイント転換ってどうするの？

1時間程度のボランティア活動で100ポイントが付与されます（1日2時間限度）。100ポイントを100円として、年間5,000ポイントまで転換できます。

臼杵市お達者長生きボランティア制度の概要 高齢者ボランティアの参加募集は9月2日（月）からです！

① 事業内容

高齢者が介護保険適用施設や学校施設、地域振興協議会などでボランティア活動を行った場合にポイントを付与し、ポイント数に応じて現金や商品券などに転換できる制度です。

② ボランティア活動対象者

臼杵市に住所を有する満65歳以上の方（介護保険第1号被保険者）



ボランティア制度の参加状況（平成26年11月13日現在）

3 登録手続き

市役所高齢者支援課(臼杵庁舎)又は市民生活推進課(野津庁舎)にボランティア登録申請書を提出していただいた後、ボランティアとして登録されます。登録後に「ボランティア手帳」が交付されます。



登録者 282人

4 受入施設（活動場所）

ボランティアの活動場所は、あらかじめ市に受入施設として申し出た次の施設などとしています。受入施設などはボランティア登録後にお知らせいたします。

- 介護保険適用施設
- 障がい者施設
- 学校施設
- 保育施設
- 自治会
- 地域振興協議会 など



受入施設数 94カ所

5 活動内容

受入施設などで行われる次のボランティア活動を対象としています。活動にあたっては、受入施設などとボランティア本人が直接話し合いのうえ決定してください。

- レクリエーションなどの指導及び参加支援
- お茶出し、食堂内の配膳、下膳、シーツ交換などの補助
- 散歩、外出又は屋内移動の補助 ●模擬店、会場設営、芸能披露などの行事手伝い
- 話し相手、傾聴 ●本、絵本、紙芝居などの読み聞かせ
- 登下校時の見守り、声掛け ●伝統工芸などの講師 ●施設内外の清掃
- 各種行事の手伝い ●各種行事の講師 など

ボランティア制度の実績（平成25年度）

⑥ ポイント付与

受入施設などでボランティア活動を行ったら、活動した施設などに『ボランティア手帳』を提示します。活動時間や内容に応じてスタンプが押印されます。1時間程度の活動で100ポイント(スタンプ1個)が付与されます(1日2個限度)。

⑦ ポイント転換

100ポイントを100円として、年間5,000ポイントを上限として転換できます。

また5,000ポイント以上を転換する場合は、市内の百専会・野津商工会加盟店で利用できる5,500円分の商品券を選択することができます。

ただし、介護保険料を滞納している方は転換できません。またポイントを第三者へ譲渡すること及び翌年に繰り越すこともできません。



ポイント転換者数 88人
ポイント数 平均 約1,640ポイント
(うち、13名は、5,000ポイント)

※ 平成25年度は、年度途中からの実施。

自然発生的な支え合いの仕組みの提案

地域で暮らす高齢者や生活弱者を地域住民で 支えあう「北海添友愛活動」について

今後の方向

- イ) 地域全体で生活弱者を支えあう「北海添友愛活動」を組織する
- ロ) 生活弱者が困った時、気軽に相談や依頼できる連絡先、受付窓口を設ける
- ハ) 住民から、弱者を支えあうボランティアを募集し、友愛活動「応援隊」として登録する
- ニ) 友愛活動応援隊の活動に対してポイント制度を設ける。

3・高齢者（生活弱者）が手助けをしてもらいたいと思っている内容（聞き取り）

- ① ちょっとした力仕事（家具の移動）
- ② 電気器具の修理（蛍光灯の取替え）
- ③ ちょっとした買物
- ④ 網戸及び障子の張替え
- ⑤ 病院への送迎
- ⑥ 話し相手、雑談して時間を過ごす
- ⑦ 急に具合が悪くなったときの手助け（ゴミ出し、色々）
- ⑧ 庭の生垣剪定

生活弱者を支える為、他の要望事項についても検討する。

4・友愛活動を継続するためポイント制度を導入する

4・友愛活動を継続するためポイント制度を導入する

生活弱者から支援の要請を受けた場合、受付窓口担当者からボランティア応援隊に依頼し、作業を実施してもらいますが、お互いに双方があまり気兼ねしない様にポイント制度を設け、活動が継続できる仕組みを築く。（下記は例）

※10 ポイント：10 円

作業の仕分け	作業内容	時間	ポイント	ポイントの負担割合			支給P	備考
				区ポイント	個人ポイント			
庭木の剪定	生け垣、植木（灌木は除く）	2 時間	400P	200P	200P			1 人当り
買物お手伝い	車使用でスーパーマーケットへ	1 時間	200P	100P	100P			
病院の送迎	市内の医療機関		300P	150P	150P			
	コメダ医院		400P	200P	200P			
網戸の張替	網戸の張替	標準 1 枚	200P	100P	100P			
	障子の張替	標準 1 枚	100P	50P	50P			
家内作業	蛍光灯の取替え、家具の移動	1 件	100P	50P	50P			

※ 修理等に必要な材料費は全て個人持ちとする

5・高齢者を支えあうボランティアの募集、と「友愛活動応援隊」としての登録

高齢者の生活には今まで簡単にできていた事が年齢とともに出来なくなり、困ってしまう事や、不便を感じる事が多くなります。こうした生活弱者に対し自分の出来ることや得意な事を通じて、困っている高齢者の家庭に対し「手助け」をして頂きませんか。

下記の通り、地域で支えあい助け合うボランティア登録にご協力願います。

ボランティア登録

※ プライバシーの厳守

氏名		性別	男	女	Tel	
ボランティア項目	お 助 け 作 業 内 容	登録○印	備 考			
① 庭木の剪定	生垣、低い植木、草刈り					
② 買物手伝い	自家用車を使用しての買物					
③ 病院への送迎	市内の医療機関への送り迎え					
④ 網戸の張替	網戸、障子の張替					
⑤ 家内作業	蛍光灯取替え、家具の移動、大工					
⑥ 話、相談相手	おしゃべり、					

地域の支え合いの仕組みをより強固なものにするために

◎市民の力で、地域力を高めて「市民が主役のまちづくり」をしよう！

今、わたしたちは臼杵市で暮らしています。働いています。この臼杵のまちを大切な“ふるさと”として、守り・育て・活かしていきましょう。そのために、市民一人ひとりが「まちづくりの主役」となることが大切です。臼杵市の将来を担う子どもたちに胸を張って、“我がまち臼杵”を誇り、継承できるように、臼杵らしいまちをつくっていきましょう。

幸せを実感できる臼杵市のまちづくりは、わたしたち一人ひとりの手に、ここに、そして地域にかかっています。

(臼杵市まちづくり基本条例（平成25年4月）パンフレットより抜粋)



市民一人ひとりが、地域づくり・まちづくりに参加し、住民同士で支え合える仕組みを作る
市民と行政の“協働”のまちづくり



臼杵市での地域支援のイメージ

日常生活支援総合事業

現行相当のサービス

デイサービス

ヘルパー



地域振興協議会

地区ボランティア（高齢者、子ども、障害者も担い手）

住民主体デイ

住民主体ヘルパー

見守りボランティア

※実施困難な地区には
現行相当のサービス

（ボランティアポイントを活用）

専門的な視点を得るため
地域リハビリテーション
活動支援事業を活用

将来的には**共生型**に移行

行政が行うサービス

（一般高齢者施策）

※**セーフティネット**として機能

生きがいデイサービス

生活支援サービス



地域での支えあい

※**情報アンテナ**としても機能

居場所（集いの場）

“**日常的な見守りの目**”



ご清聴ありがとうございました

